



HobbyWorld
MARINE



BORN FROM THE OCEAN

VISION2020

新・海洋趣味セミナー

講師 佐藤健雄

南米海洋趣味産業プロジェクト及び南米海洋教会代表





講師紹介

- 講師:佐藤健雄(さとう たてお)
- 略歴
 - 1986年10月15日 渡米し、海洋摂理に参加。フロリダ州、サウス・カロライナ州などで魚卸し業、レストラン、釣具店、釣り船などに従事。この当時、1983年10月から毎月100人のメンバーが海洋摂理を担当するという事で日本からアメリカに送られていたが、この時、最後のグループの1人として渡米。
 - 1989年9月 米国海洋教会代表となりアメリカ海洋摂理の全般に責任をもつ。以来15年間、文鮮明先生の釣りの補佐官などを勤め、文先生の直接的な御指導の下でボート製造販売会社設立など海洋趣味産業開発にあたる。
 - 1991年9月 神山威会長がアメリカで海洋訓練を受けた200名のリーダーと共に日本に帰るに当り、アメリカの海洋摂理全体に責任を持つ。神山会長の責任分担を佐藤が交代。
 - 2004年8月 文鮮明先生からの人事を受け、神山会長以下日本人国家的メシヤと南北米の責任を交代する。現在、南米パラグアイ・アスンシオンにボート工場及びその関連産業設立にあたっている。
 - 2005年7月12日 日本での株式・株主募集及び日本での活動に対する認可を、当時の、日本における内的責任者であった劉正玉総会長より受け、日本での8000名株主募集を開始。
 - 前 米国海洋教会代表(15年間)
 - 前 True World Marine (Hobby World Development Inc.) 社長 (創立者)
 - 前 ISA Inc. (アラスカ) 社長



1994年、文鮮明先生御夫妻が南米に行かれるにあたり、佐藤社長に北米海洋摂理の責任を持つように指示される



2004年、南米海洋摂理担当となる



日本人国家メシヤ185名と北米の海洋趣味産業摂理担当者の人事措置に対する文鮮明先生の御指示

- **2004年8月21日漢南洞公館：** 神山と佐藤を人事異動しようと思うよ。今まで何年だ。13年、15年？（佐藤は）何年お父様と共にやってきたか？（15年です）パラグアイに行って造船するんだよ。パラグアイで新しくやった場合、アメリカで造船して販売するよりいい結果が生まれると思うよ。一生懸命やったらいくらでも発展する。躊躇する必要ないよ。神山、こういう関係で、今日でもって全要員交代人事処置したら、朴（相権社長）さんどう思う？神山わかった？今からそういう人事措置をこの時間に命令する。明日からこれに対応する工作をするように。180名（185名）は（アメリカに）移動して造船会社に、また販売要員とか（をする）。今まで造船（等）したものは南米に。佐藤は南米に行くんだから共に援助組み合いながら、造船援助しながら共にやる。佐藤君、パラグアイに行っても、先生に会う時間多くなるかもしれない。160名（185名）と60名。佐藤君60名ね。それで造船今までやっている何名かを交換して、生活援助しあいながら共同作戦でもって南米共々平均時に発展させて。南の国では人件費が安いから、南の方であんた達を解放して造船した（させた）場合、1日30隻、1日100隻造るような基盤を作れば（アメリカで）1日30隻造るより費用が掛からないからね。先生はそのような意味においてこういう人事をすべきである。計画、試験的にでもやるべきである。南米は人件費はいらないよ。今から先生は96歳のおじいさんになる。先生助けて！90歳のおじいさんに出してもらおう、恥ずかしいことよ。そのようにしないように各自奮励努力せよ。（方針の一部を抜粋）
- **2004年9月4日コディアック・ノースガーデンでの調整会議で：** 5万坪の土地をアスンシオン近郊に購入する。まず、そこを基盤として造船とそして海洋摂理関連の仕事をする。はじめの資金はTrue Worldが出す。しかし佐藤君はできる限り早く自立する。日本と相談し、投資家を集めてやるんだよ。（方針の一部）—詳細はセミナーの中で（通常のビジネスではなく、摂理ビジネスである事、祝福家庭がビジネスの主役となり、統一思想に基づく世界最大の事業を起こす事等が主な指示）



講義内容

I. PART I VISION 2020 概観

- VISION 2020 とは？
- 麗水で終結し、始まった時代、環太平洋時代とは？
- VISION2020と海洋摂理の役割及び私たちの歩調
- これからは？

II. PART II 真の海洋文化文明の創始者としての文鮮明先生の御生涯

- 世界的釣りのチャンピオン—なぜ生涯の3分の2もの期間 自らと人材と経済を海に投入されたのか？ その生命がけの闘いの歴史
- 生涯のボートビルダー(チャンピオン)—50年もの期間を投入し造られたボートとは？
- 歴史的海洋文化文明(海洋趣味産業)の創始者—「氏族メシアが国家を代表できる名を成して」

III. PART III 製造と販売へ

- はじめに—①株主による製造・販売 ②なぜパラグアイなのか ③ボート製造のコンセプト ④278隻導入の意義 ⑤海洋摂理を進める核心はボート ⑥ボート事業が世界最大の事業であるというコンセプト ⑦ボートは大きな価値を創るというコンセプトを祝福家庭である私たち自身でつくる事 ⑧パラグアイで造るボート ⑨一隻の試算 ⑩ボート釣りクラブの結成
- 製造体制
- 販売体制

IV. PART IV 国民海洋基金(海洋趣味産業摂理基金—海洋趣味産業摂理12本の柱)募集

Memo





PART I

VISION2020 概観

- VISION 2020 とは？
- 麗水で終結し、始まった時代
環太平洋時代 とは？
- VISION2020 と海洋摂理の役割
及び私たちの歩調
- これからは？



「PART1 VISION 2020 概観」の内容

1. VISION 2020 とは？
2. なぜ、いつ、環太平洋時代は到来(着)するのでしょうか。そして、それはなぜ「真の海洋文化文明の時代」「神様文明開闢時代」となるのでしょうか。
3. 2009年～2012年の「麗水世界海洋博」で終結した「お父様の海洋圏完成 3年路程」と「私たちの海洋摂理路程」の歩調
 - ① 海洋圏完成 3年路程のみ言
 - ② お父様を中心とする海洋圏完成3年路程
 - ③ 「3年路程」と同時進行した2012年までの「ホビーワールドマリンの歩み」
 - ④ 環太平洋時代が韓国に到着—2012.5.12～8.12
 - ⑤ 2012.8.13「お父様の最後の祈りの時」より韓国が世界の頂点にたつ「第三のローマ」へ出発
4. 2020年まで43カ国復帰、韓半島統一
5. 「VISION 2020」の中で「日本とパラグアイと韓国」の復帰を基盤に「韓半島の統一」を目指す
6. 2016年までの海洋趣味産業摂理 3年路程



VISION 2020 とは

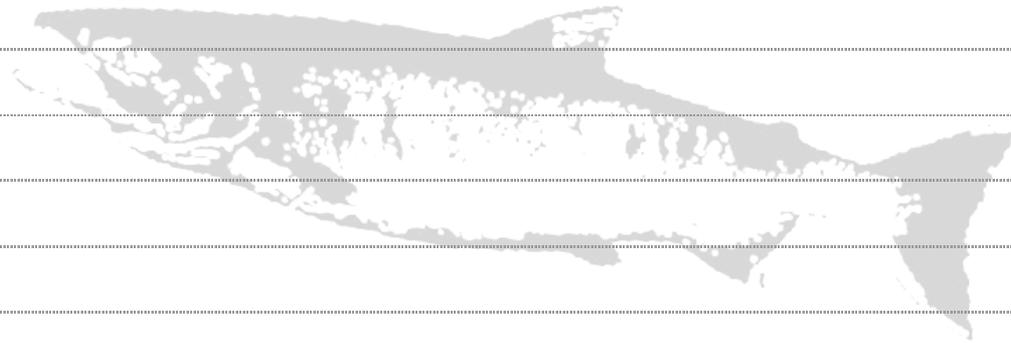
1、2020年までに地上、天上天国は建設される

—3年から5年、どんなに遅くても7年で天国は建設される (お父様)—

「時間がない。立ち上がりなさい。死生決断しなさい。走りなさい。飛べばもっといいのです」(お母様)

- ① 「VISION 2020」とは、韓国、日本、アメリカをはじめ、戦略国家20カ国と摂理国家20カ国の計43カ国を、2020年までに「7年で復帰できる」というビジョンです。
- ② 信じる事の出来る根拠の例 1:ユダヤ教、イスラエル民族がイエス様をメシアとして信じ、迎え入れていけばイエス様は7年でクレタ島に海洋趣味産業モデル基地 (真の海洋文明、神様文明) を建設し、ギリシャ、ローマを再生し、準備されていたインド、中国を經由して、中原天地に統一文明圏の旗を立てていたとお父様は語っておられました。
- ③ 信じる事の出来る根拠の例 2:1945年8月15日、韓国キリスト教と世界のキリスト教がお父様を「再臨の主」として迎えていけば、7年で世界は地上天国、天上天国となっていた。

Memo





VISION 2020 とは

2、「VISION 2020」は、お父様が2012年7月23日前後「これから3年から5年どんなに長くても7年で、地上・天上天国は建設される」と語っておられた事が根拠と思われまます。

① お父様は、再臨の主として、地上・天上天国を建設せずして霊界に行く事は出来なかった存在。

② 基元節までに「天一国」は建設されなければならなかった。

天一国の基本とは、主権（天の父母様・天地人真の父母様）と国民（カイン・アベルの完成家庭）と国土（生活の最適地、文化・文明の中心地）があれば成立。最小限度のこの天一国のモデル(核)だけ出来れば悪の勢力圏は整理されるべきだった。

(偽りと真の先後の法則、内的・縦的・歴史的 蕩滅復帰 と 外的・横的・現実的、実体的実現の原則)

③ 2020年までの7年間は、人類に残された猶予期間

お父様は特別な条件を立てられ、悪がまだ地上に存在する状態でも「7年の猶予期間」を置かれた上での新天新地の出発（7月23日朝）を宣布され、霊界での活動を選択されたに違いありません。地上の統一の動機は霊界にある。

④ 「7年で地上天上天国建設を可能にする」 世界的キリスト教に代わる勝利的基盤を造成してこられた真の御父母様の60年（1950~2012）の路程とは。



「VISION 2020」で復帰を目標としている国家

[戦略国家]

1. 韓国
3. アメリカ
5. ネパール
7. 台湾
9. タイ
11. ブラジル
13. コスタリカ
15. パヌアツ
17. ベナン
19. コンゴ人民共和国
21. コートジボアール
23. モルドバ

[摂理国家]

2. 日本
 4. ドミニカ共和国
 6. フィリピン
 8. インド
 10. アルバニア
 12. パラグアイ
 14. ソロモン諸島
 16. パラオ
 18. ブラザビルコンゴ
 20. ブルキナファソ
 22. モンゴル
1. カナダ
 3. イタリア
 5. フランス
 7. スイス
 9. ウルグアイ
 11. メキシコ
 13. オーストラリア
 15. ケニア
 17. ナイジェリア
 19. 中国
2. マレーシア
 4. イギリス
 6. ドイツ
 8. パナマ
 10. アルゼンチン
 12. ニュージーランド
 14. イスラエル
 16. ザンビア
 18. ロシア
 20. ウクライナ



なぜ、いつ「環太平洋時代」は到来するのでしょうか？

そして、それはなぜ「真の海洋文化文明の時代」

「神様文明開闢時代」となるのでしょうか？

- 「原理講論」の「再臨論」から見た「環太平洋時代到来」の意味
- 人類文明の変遷史から見た「環太平洋時代到来」の必然性
- 「墮落陸上文明」の終焉と「神様文明としての真の海洋文化文明環太平洋文化文明」の出現
- 自叙伝を通して見る「環太平洋時代」の到来
- 2007年3月17日 環太平洋時代、神様文明開闢時代宣布
- 神様のみ旨から見た環太平洋時代の史観
—アメリカを中心とするUNと自由世界の方向—
真の御父母様を中心とする環太平洋(海洋)神様文明時代の開闢
- 麗水海洋国際博覧会の開催される「2012年5月12日～8月12日」に海洋の運勢、天運が朝鮮半島に集まってきました。

Memo





「原理講論665頁再臨論」から見た 環太平洋時代到来の意味(1/2)

(5) この国であらゆる文明が結実されなければならない

(地上・天上天国建設)

- 既に述べたように(前編第三章第五節 1)、人間の霊肉両面にわたる無知を打開しようとして生じた宗教と科学、または、精神文明と物質文明が、一つの課題として解明されて初めて、人生の根本問題がみな解かれ、創造理想世界が建設されるようになるのである。ところで、イエスが再臨されてつくらなければならない新しい世界は、科学が最高度に発達した世界でなければならないから、復帰摂理の縦的な歴史路程において発達してきたあらゆる文明は、再臨されるイエスを中心とする社会で、横的に、一時に、その全部が復帰され最高度の文明社会が建設されなければならない。従って、有史以来、全世界にわたって発達してきた宗教と科学、すなわち、精神文明と物質文明とは、韓国を中心として、みな一つの真理によって吸収融合され神が望まれる理想世界のものとして結実しなければならないのである。
- 第一に、陸地で発達した文明も韓国で結実しなければならない。したがって、エジプトで発祥した古代の大陸文明は、ギリシャ、ローマ、イベリヤなどの半島文明として移動し、その半島文明は再び英国の島嶼文明として移動するようになり、この島嶼文明は更に米国の大陸文明をつくった後、日本の島嶼文明へと振り戻ったのであった。この文明の巡礼は、イエスが再臨される韓国で、半島文明として終結されなければならない。
- 第二に、河川と海岸を中心とした文明も、韓国が面する太平洋文明として結実しなければならない。ナイル河、チグリス河、ユーフラテス河などを中心として発達した河川文明は、ギリシャ、ローマ、スペイン、ポルトガルなどの地中海を中心とした文明として移動したのであり、この地中海文明は、再び、英国、米国を中心とした大西洋文明として移動したのであり、この文明は、アメリカ、日本、韓国をつなぐ太平洋文明として結実するようになるのである。

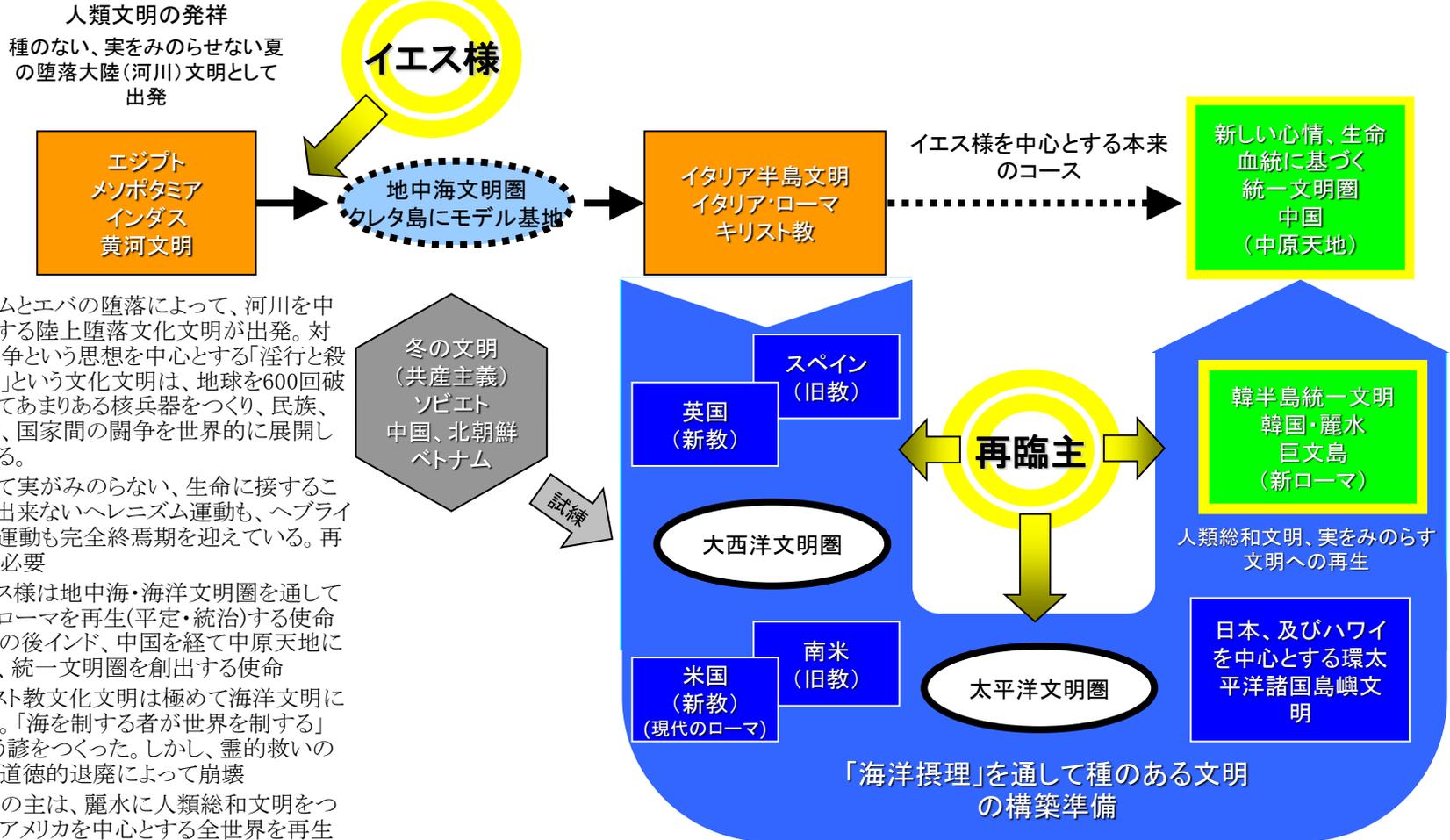


「原理講論665頁再臨論」から見た 環太平洋時代到来の意味(2/2)

- 第三に、気候を中心とした文明も韓国で結実しなければならない。気候を中心にして見れば、あらゆる生物の活動と繁殖は、春から始まって、夏には繁茂し、秋には結実し、冬に至って蓄えるようになるのである。このような春、夏、秋、冬の変転は、年を中心としてのみあるのではなく、一日について見ても、朝は春、昼は夏、夕方は秋、夜は冬に、各々該当するのであり、人生一代の幼、青、壮、老もまた、そのような関係にあるのである。歴史の全期間もこのように進行するのであるが、それは、神がそのような季節的な造化の原則をもって被造世界を創造されたからである。
- 神が、アダムとエバを創造された時代は、春の季節に相当するときであった。したがって、人類の文明は、エデンの温帯文明から始まって、夏の季節に該当する熱帯文明に移り変わり、その次には、秋の季節に該当する涼帯文明として移り変わった後、最後には冬の季節に該当する寒帯文明として移り変わらなければならなかったのである。ところが、人間は墮落することによって、野蛮人と化してしまったので、温帯文明をつくることができず、直ちに熱帯で原始人の生活をするようになったため、エジプト大陸を中心とした熱帯文明を先につくるようになったのであった。そうして、この文明は、大陸から半島、島嶼へと移されて、涼帯文明をつくったのであり、これが再びソ連に渡って寒帯文明をつくるようになったのである。そうして今や、新時代の夜明けとともに、再び新しいエデンの温帯文明が、大きく開かれなければならないのであり、これは、当然、すべての文明が結実しなければならない韓国において成就されなければならないのである。

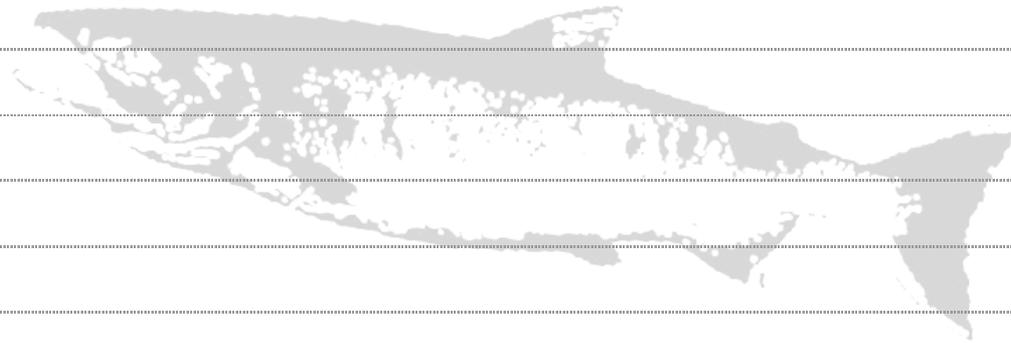


「人類文化文明の変遷史」から見た 「環太平洋時代」到来の必然性(ダイアグラム)



- アダムとエバの墮落によって、河川を中心とする陸上墮落文化文明が出発。対立闘争という思想を中心とする「淫行と殺戮戦」という文化文明は、地球を600回破壊してあまりある核兵器をつくり、民族、宗教、国家間の闘争を世界的に展開している。
- 決して実がみのらない、生命に接することは出来ないヘレニズム運動も、ヘブライズム運動も完全終焉期を迎えている。再生が必要
- イエス様は地中海・海洋文明圏を通してまずローマを再生(平定・統治)する使命→その後インド、中国を経て中原天地に行き、統一文明圏を創出する使命
- キリスト教文化文明は極めて海洋文明に近い。「海を制する者が世界を制する」という諺をつくった。しかし、霊的救いのみで道徳的退廃によって崩壊
- 再臨の主は、麗水に人類総和文明をつくり、アメリカを中心とする全世界を再生(平定・統治)し、白頭山を越えて、イエス様と同じ「中原天地」に「統一文明圏」をつくる使命を持たれている。

Memo





「墮落陸上文明」の終焉と「神様文明としての 真の海洋文化文明、環太平洋文化文明」の出現

ローマカソリックの腐敗によって生じた人本主義（ヘレニズム）運動は、文芸復興からフランス革命そして共産主義運動に発展し、遂に1917年ロシア革命という形で主権国家を確立致しました。しかし、このプロレタリア文化文明というヘレニズム運動の最終地ともいべき共産主義運動は、「70年は越えられない」という原則の下に、1987年には腐敗墮落の極限を呈する形で崩壊し始めました。東欧共産圏が崩壊しベルリンの壁も崩壊し、遂に1991年ソ連邦が解体されました。残されているのは中共と北朝鮮ですが、これも70数原則に基づき2018年は越えられないでしょう。当時、ゴルバチョフ大統領は1990年に御父母様を国賓待遇で迎えました。「腐敗墮落をますます極めていくキリスト教民主主義自由主義を共産主義では克服出来なかった、文鮮明先生の統一思想こそ、唯一の解決策である」と喝破致しました。金日成主席もいうまでもありません。ですから、1991年に金日成は御父母様を迎え、義兄弟の契りを結び、金正日には「南北統一は文鮮明先生とだけやるように」との遺言を残しました。金正日もその遺言に従い、金正恩と文享進様を義兄弟としました。その上で北朝鮮は、統一思想による新しい文化・文明によって韓国が産み変えられるのを待ち望んでいます。すなわち、ヘレニズム運動もヘブライズム運動もすなわちサタンを中心とするアダムとエバから出発し6000年間続いてきた墮落陸上文明は、真の御父母様の思想を中心とした神様の心情、血統、思想に基づいた純正な海洋文化文明から出発した国家を代表する都市文明（祝福家庭を核とする氏族、宗族、種族メシア）の出現によって韓半島は統一され、世界は統一されていくのです。



自叙伝を通して見る「環太平洋時代」の到来

(ポムネッコルの時代から叫んでおられた)

- 第三章 世界で最も中傷を浴びた人—教会創立と受難
- (第二項) 井戸の近くに住む「気のふれた美男子」 自叙伝P127

ポムネッコルに土壁の家を建てて教会を始めた当初、私の話を聞いてくれる人はたったの三人だけでした。それでも、三人に話をするとはいえず、たとえ目に見えなくても数千、数万、いや人類全体が私の前にいると考えて話をしました。全世界に向けて爆発するような大音声で、昼夜を分かたず私が悟った原理のみ言を伝えました。

家の前に井戸が一つありました。その水を汲みに来る人たちの間に、土壁の家に気がふれたおかしい男が住んでいるという噂が生じました。格好はみすばらしいし、人気のない場所の幽霊が出そうな家から天下に号令するような叫び声が聞こえてきたので、人々はひそひそとそんな話をしたのです。天地がひっくり返って韓国が全世界を一度に統一するという気宇壮大な話をしたので、山を下りた周辺一帯に噂が広まったようでした。噂のせいか、井戸の近くに住む気のふれた男を見ようと、わざわざ訪ねてくる人も現われました。恰幅のいい健康そうな美男子という噂が付け加わって、「気のふれた美男子」を一目見ようと、遊びがてら山道を歩いて上がってくるおばさんたちもいました。

「原理原本」を脱稿した日、……………

私は座布団を出して彼女に座るように勧め、私も座りました。私たちが座ったすぐそばで、泉の水がちょろちょろ流れていました。

「韓国の地は今後、全世界で山の峰と同じような役割を果すでしょう。そして、世界中の人が韓国人に生まれることができなかったことを悔しく思う時がくるでしょう」

私の言葉に、彼女は呆気にとられた表情で私を眺めました。



自叙伝を通して見る「環太平洋時代」の到来

加速化する西洋文明の没落と、朝鮮半島で精神文明(東洋)と物質文明(西洋)、陸上文明と海洋文明が出会う時

- 自叙伝第七章「韓国の未来、世界の未来」(自叙伝P286)より
- 「いくら高い山の頂上に置かれた石だとしても、落ちる時は谷底に落ちていきます。西洋文明の最後がまさにそれです。科学の力を借りて目覚ましい発展を遂げましたが、精神的な没落によって、すでに谷底に向かって落ちていっています。その谷底がまさに数千年間精神文化を築き上げてきた東洋です。
- その中でも朝鮮半島は東洋と西洋の文明が出会う場所であり、大陸文明と海洋文明が出会う所です。歴史学者のシュペングレーは、一年に春夏秋冬があるように、文明もまた興亡盛衰を繰り返してきたと言いました。今は、これまで栄えてきた大西洋文明時代が過ぎていき、新しく環太平洋文明の時代が開く時です。環太平洋文化圏の中心はアジアです。韓国を中心とするアジアが新しい歴史の主人公になります。全世界人類の3分の2がアジアで暮らしています。世界のあらゆる宗教の起源もアジアです。アジアは長い間、人類の精神的な根源でした。
- 西洋文明と東洋文明は、近い将来に朝鮮半島で一つになるでしょう。世の中は今も急速に変わっています。天運も、ますます早く私たちに向かって近づいています。世の中が完全にひっくり返る変化の時期に、朝鮮半島が世界を導く重大な役割をきちんと果たすためには、万全の準備をしなければなりません。」(自叙伝P286)

Memo





自叙伝を通して見る「環太平洋時代」の到来

環太平洋時代の到来と共に朝鮮半島に「天運」が到来

- 日本を大きく育てた力が、今や朝鮮半島に移ってきているのです。人類の文明が、朝鮮半島で結実する準備をしています。
- 日本の島嶼文明が大陸と連結しようとするれば、必ず半島を経由しなければなりません。勿論、アジアにはインドシナ半島もあり、マレー半島もありますが、それらの国々は、現代文明を受け継ぐだけの背景を持ち合わせていません。ひとえに朝鮮半島だけがその役割を果たすことができるのです。朝鮮半島は、地政学的にまさに絶妙な位置にあります。太平洋の海を挟んでアメリカと日本に対しているかと思えば、アジアとヨーロッパ大陸とも連なり、中国、ロシアと国境で向き合っています。そのため、昔から強大国の勢力争いの要地となり、多くの犠牲を払ってきました。
- 冷戦時代には共産主義と命がけの戦争を行い、今も朝鮮半島は依然として世界の強国の関心と利害関係が絡み合い、分断国家となったまま、完全な平和を成し遂げることができずにいます。世界四大強国の利害関係が衝突する接点にある朝鮮半島は今、強大国の衝突を防ぎながら、世界の繁栄と平和のための協力を導き出す重大な役割を担当する時期になりました。
- 天運には必ず重大な責任が伴います。今や天運を迎えた朝鮮半島は、これらの国々が衝突せず、世界の繁栄と平和のために緊密に協力するような役割をしなければなりません。ベアリングは、回転する機械の軸を一定の位置に固定しながら、同時に軸を自由に回転させる役割をします。これから朝鮮半島は、まさに強大国との関係を円滑に維持しながら、世界平和を発展させるベアリングになるべきです。(自叙伝P284)



自叙伝を通して見る「環太平洋時代」の到来 「韓国は二つの準備をしなければなりません」

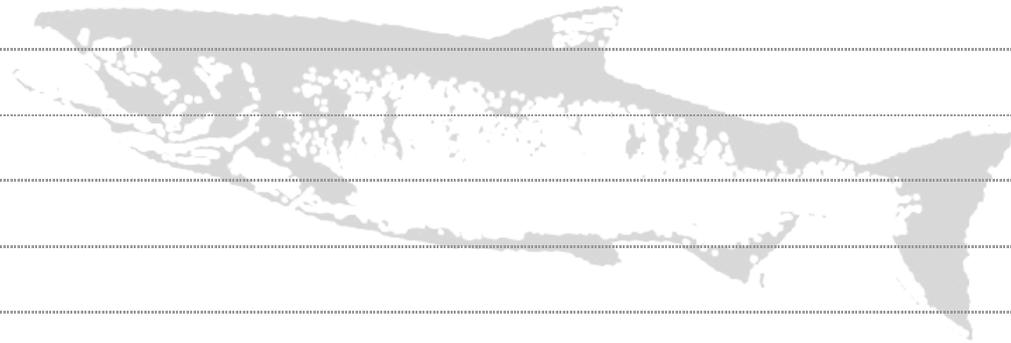
- 海を掌握する国が世界の主役になるということは、歴史が証明しています。
- 「韓国が世界の主役として登場するのをアメリカやロシアが放っておくことはできません。韓国を囲んでいるアメリカと日本、ロシア、中国の間で大きな戦いが起きることもあり得ます。ですから、韓国は二つの準備をしなくてははいけません。
- まず、日本とアメリカを結んで、ロシアと中国を結ぶ強大なベルトをつくって我々を守らなければいけません。何によってその国々を結ぶことができるのでしょうか。一つになる思想であり、一つになる心です。地球村の人類が人種と国家と宗教を超えて「一つになる」という思想だけが、国と国の戦争を防いで平和世界を拓くことができるのです。我々は戦争の危険から自らを守るために一つになるための平和思想を世界に植えつけなければなりません。
- また、もう一つわれわれが準備しなければならないことは、海洋時代に生きる力をもつことです。太平洋は海です。海を治める力がなければ太平洋文明圏の主役になることはできません。いくら天運が到来したとしても準備ができていなければチャンスを掴むことはできません。韓国が中心の海洋時代が拓くという事実が分かったならば当然海洋時代の主役になる準備をしなければいけません。」(自叙伝P304)



自叙伝を通して見る「環太平洋時代」の到来 「海洋時代はひとりでに開かれるわけではありません」

- 「海洋時代はひとりでに開かれるわけではありません。何より私が先に海に出なければいけません。海に出て船に乗り、波と格闘しなくてはなりません。その勇気がなければ決して海洋時代を準備することはできないのです。海を占領する国が世界の覇権を握ることができます。海を占領した国の文化と言語が世界の言語と文化になる日がすぐにやってきます。海を創造主の意思に従って管理し、海をよく運用しなくてはなりません。」
- 海は世界を結束させる求心点となるでしょう。海を治める人になろうとすれば、そこで自由に生きていくことのできる訓練をしなくてはなりません。」(自叙伝P305)

Memo





2007 環太平洋時代、神様文明開闢時代宣布

—アメリカが真の御父母様を迎える40年期限である2010年の3年前の宣布—

- 1950年以前—ポムネッコール時代(1950~1953)—野牧時代(1955~1960)—天勝号奉獻式(1963・6・26)—米国海洋教会時代(1971~1994)—ジャルジン時代(1995~2000)—ハワイ時代(2000~2002)—巨文島・麗水時代(2002~2012)お父様は摂理の始めから、生涯一貫して、環太平洋時代の到来に向けて準備を重ねて来られる。

「神様のみ旨から見た環太平洋時代の史観—アメリカを中心とするUNと自由世界の方向」がメッセージのタイトル

- 2007年3月17日に、日本で開催・宣布出来ないで代わりにハワイ・コナで宣布される。(朝総連、民団100名づつ、世界から700名集めて)
- その後、2009年に至るまで毎月このみ言を宣布される。
お母様と子女様方で世界195ヵ国を巡回され宣布される。
- このメッセージを「平和神経」13番('07/9)と16番('08/8)に入れる。
- これは「文鮮明先生の人生の結論」とであると語られる。
- 「このメッセージを理解することによって文鮮明先生の生涯を理解することが出来る」と語られる。



2007 環太平洋・神様文明開闢時代宣布

—2008年7月19日 ヘリコプター事態の朝、アメリカが真の父母様を迎える期限を3年延長すると語られる—

- これまでの英国、アメリカを中心とする西欧、大西洋物質文明の延長としての環太平洋時代の到来を意味するものではない。
- 生命の出発点である「海」から出発する神様の血統に基づく新しい文明を創出する事によって全・陸上墮落文明を再生する。
- この「環太平洋・神文明開闢時代」を形づくっていく為に文先生はボート企業群をつくってきたと語られる。
- この宣言は基元節まで続くと語られる。

「私はこのような時代の到来を知っていました。私はボート製造企業群と新聞社を作りました。これらのものが、これからの世界の方向を形づくっていくでしょう。あなた方は私の代身者となり、私の築いた基盤を相続しなければなりません。」2007年3月19日、ハワイ・コナ・キングガーデンでの御言葉 「環太平洋神文明開闢時代宣布」にあたって



「神様のみ旨から見た環太平洋時代の史観」

—アメリカを中心とするUNと自由世界の方向—

真の御父母様を中心とする環太平洋(海洋)神様文明時代の開闢

- 天一国7年をスタートし、数千年の歴史上、人類がただの一度も経験できなかった摂理的次元の禧年と共に、神様を中心にお迎えする、サタン主管権、すなわち悪主権の先天時代が終り、新しい善主権の時代である後天開闢時代を宣布致します。
- 人類歴史の発展過程を深く観察してみれば、歴史の背後で、絶えず役事される天の意志と息遣いを、はっきりと感じるようになります。四大河川文明から出発した人類文化は地中海圏に上陸し、ギリシャ、イタリア半島文明を経て、ヨーロッパ大陸文明として定着すると思いきや、イギリスの島嶼文化の花を咲かせる土台となり、四海を平定し、日の沈む日がないと叫び、氣勢をあげていた大英帝国も、その華麗な文化のバトンをアメリカ大陸に譲り渡した事実を私たちは歴史の中で目撃しました。アメリカ大陸に着陸した人類文化は、キリスト教に根をおく民主主義の甲冑をまとい、宗教の自由と人権平等の旗印を掲げて闘い、無神論的悪主権の代名詞であった共産主義がひざまづくようになります。しかし、人類文化史の発展がここで終るのではありません。摂理的プログラムに合わせ、天はアメリカという国を第二イスラエルとして選び立て、中心宗教であるキリスト教を通してアメリカの国民を育て訓練させ、この結実段階の摂理を成したのです。問題は今からです。地球星を一周回ってきた人類文明史の発展はついに太平洋に到着しました。人類歴史は、今から環太平洋圏を中心として完成完結すべき摂理的時点に到達したのです。
- 環太平洋時代の私たちの使命は、神様が地中海上方の片隅に位置するイスラエルに送られたイエス様が、地中海の中心であるローマを拠点として四海を掌握し、世界人類を救ってあげることを期待していたにも拘わらず、十字架の斬刑に終わった神様の心情を理解し、このアメリカを通して完遂しようとする神様の計画を知らなければなりません。それは、神様が送って下さった人類の真の父母として顕現されたレバレンド・ムーンの教えである真の愛の人生を実践躬行し、霊界の実相をはっきりと知り、モデル的理想家庭を探し立てることです。真の愛の本質は受けようとする愛ではなく、人のために全体のために先に与え、為に生きようという愛です。もし、全世界が、この様な真の家庭で満ちあふれるならば、そこには弁護士も、検事も、さらには判事も必要なく、天道と天法が治める、道理に従う世界となるでしょう。
- 天の摂理は今、アメリカ大陸を経て日本列島において島嶼文明の花を咲かせ、人類の救世主であり、再臨の主として顕現された真の父母の祖国、韓半島で結実するべき宿命的瞬間を迎えています。皆様は、よく知らないと思いますが、韓半島の核問題解決のために、現在進行している六者会談の背後を操縦し、その解決策を提示しているのもレバレンド・ムーンだという驚くべき事実を明らかにしたいと思います。

Memo





「神様のみ旨から見た環太平洋時代の史観」 —アメリカを中心とするUNと自由世界の方向(続)—

- この切迫した時代において、アメリカは、太平洋圏のすべての島嶼国を糾合し環太平洋を保護し、守らなければなりません。環太平洋圏に安定と平和が定着する時、人類の平和も保障されるでしょう。怒涛のごとく押し寄せてくる周辺の強大国の途方もない津波は、阻止する事ができません。太平洋圏のすべての島嶼国が一つに団結しなければならない時がきました。さらには、日ごと激しくなっていく環境破壊と戦争から五大洋を死守し、人類の未来の生命綱であり、生命線である海洋圏を保護して生かすべき責任が皆様にはあるのです。
- 私は、実に形容し難い受難の路程を克服して勝利し、2003年、エルサレムにおいてキリスト教、ユダヤ教、イスラム教の推戴を受け、イエス様を王の王として天上天下に宣布致しました。それとともに、2004年には、私はアメリカと韓国の国会で平和の王として推戴され、2006年6月には天宙平和の王戴冠式を挙行するようになったのです。2005年9月12日には、神様の摂理史に花咲かせる天宙平和連合 (UPF) を創設し満天下に宣布しました。天宙平和連合は、後天時代のアベルUN的役割を果たすことでしょう。真の愛・真の家庭主義を伝授されて走っている数百万の平和大使たちを動員して「神様の下の人類一大家族」の天命を必ず完遂しなければなりません。
- 皆様、天宙平和連合は、超宗教超国家的次元で、交叉交体祝福結婚を通して墮落前のアダムの血統に復帰する、人類血統転換の大革命を遂行する前衛隊となるでしょう。レバレンド・ムーンの教えに従い、もしアメリカとロシアが超国家的次元で交叉交体祝福結婚を決行したとすれば、どのような結果がでてくると思いますか？二つの国は、永遠の絶対主人である神様と一つの家族となるでしょう。
- 天運の流れを逃さないで、地球星の75%を占めている海洋圏を、皆様が先頭に立って保護し発展させなければなりません。さまざまな公害と資源の枯渇によって死につつつある陸地を回生させ、人類の未来を約束してくれる新しい資源の宝庫を、ほかのどこで見出すことができるでしょうか？
- 今は女性時代を代弁する海洋時代が開かれました。海を中心として、超国家的で超大洋的な女性文化圏である海洋圏文化を創出するにおいて、環太平洋圏が機関車の使命を果さなければならないという事を、肝に銘じてくださる事を願います。



麗水海洋国際博覧会が開催された2012年5月12日～8月12日に海洋の運勢、天運が朝鮮半島に集まってきました。

- 私が麗水開発を始めるやいなや、麗水市は2012年の海洋国際博覧会の開催地になりました。国際博覧会(EXPO)は、オリンピック、ワールドカップと並ぶ世界三大祝祭です。国際博覧会が開かれる3ヵ月間に、全世界から154ヵ国の会員国や国際機構が各種の展示会を開きます。そのようになれば、世界の耳目が麗水に集中するのはもちろん、先進技術と文化が一度に麗水に集まってきます。夏の日に、雲が激しい勢いで押し寄せてくる場面を見たことがあるでしょうか。一度風に乗り始めた雲は、あっという間に山を越え、海を越えます。もたもたすることがありません。そのように、雲の群れが押し寄せてくるように、世界が麗水に向かって、朝鮮半島に向かって集まってくるようになります。
- 私は、南海岸にある島という島をすべて橋で連結し、世界各国の船に乗る人たちに食事と宿泊所を提供するコンドミニウムを建てる計画です。飲み食いして遊ぶためのコンドミニウムではありません。アメリカ人、ドイツ人、日本人、ブラジル人、アフリカ人等々が、たとえ互いに他の船に乗って魚釣りをしたとしても、寝食は一つの家でするようにして、人類が一家族であると分かるようにしたいのです。(自叙伝P310)

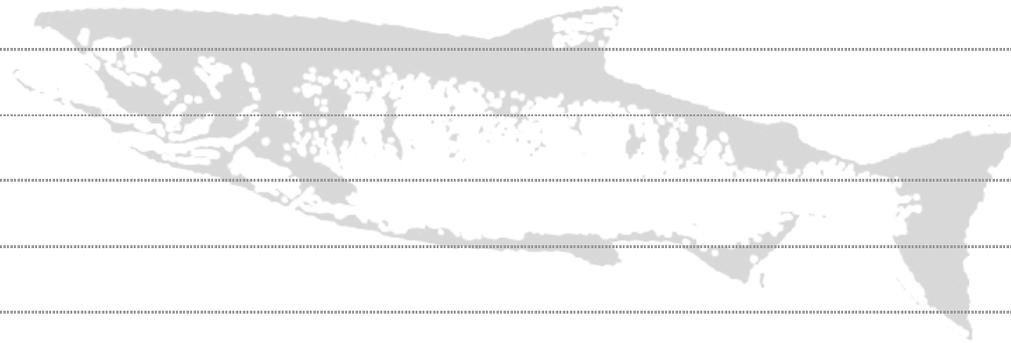


麗水国際海洋博で終結した2009年～2012年の 「海洋圏完成 3年路程」

海洋圏完成 3年路程に対する御言葉

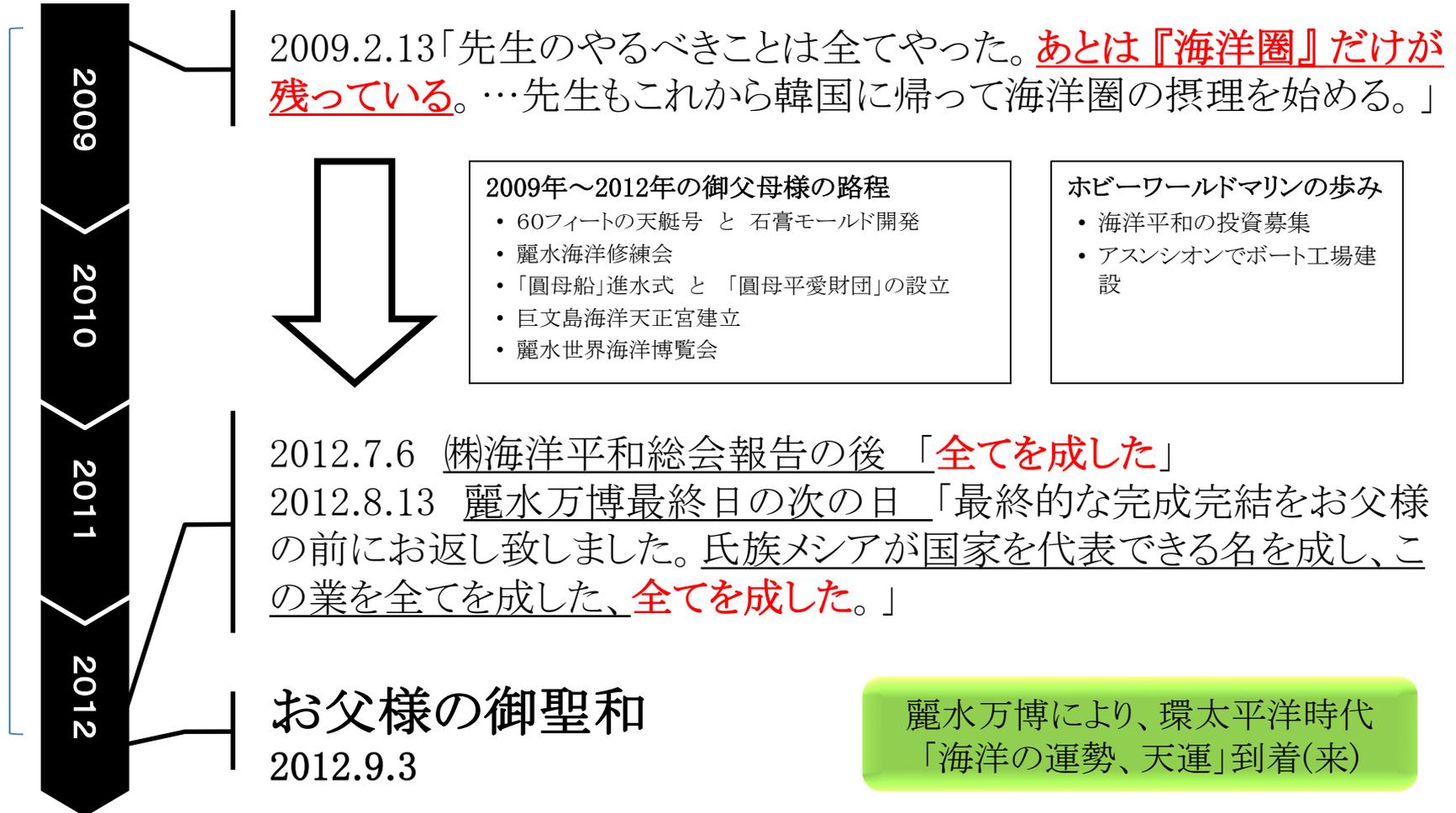
2009年2月13日：「今回『万王の王神様解放圏戴冠式・金婚式』を奉獻したことによって先生のやるべきことは全てやった。あとは『海洋圏』だけが残っている。これから3年以内に海洋圏を完成させなければならない。もしそれができず1日遅れれば100年遅れることになる。10日遅れれば1000年だよ。君達どうするんだ。先生もこれから韓国に帰って海洋圏の摂理を始める」(ハワイ・キングガーデンにて・ラスベガスから韓国への帰途、ハワイに立ち寄られた時のみ言葉)

Memo





麗水国際海洋博で終結した2009年～2012年の 海洋圏完成3年路程概略





麗水国際海洋博で終結した2009年～2012年の 海洋圏完成3年路程の主な内容

60フィートの天艇号 と 石膏モールド開発

2009年2月、御父母様はハワイから韓国に帰られるとすぐ、石膏モールド開発に本格的にとりかかれると共に、天勝号の進水式以来、50年来の念願としてこられた200海里海洋時代の為のボートの完成を意味する「60フィート(天艇号)」の建造を開始され、2011年2月3日(天暦1月1日)までに完成され、2月17日、麗水ヨットハーバーで、7000名を集めて「樹脂型石膏モールド世界説明会及び天艇号進水式」を挙行されました。

麗水海洋修練会

そして、2010年6月1日までに、韓国に祝福の為に嫁いだ7000名の在韓日本婦人対象の40日海洋修練会を完結され、その土台の上で、韓国、日本の全女性を対象にした麗水修練会を開始されました。(2012年に終了)

「圓母船」進水式 と 「圓母平愛財団」の設立 と 「巨文島海洋天正宮」建立

その後、2011年5月22日にラスベガスで24フィートボートの進水式を行われ、8月18日にはヘリウムガス装填による不沈ボート(24フィート)「圓母船」進水式を挙行されました。続いて「圓母平愛財団」の設立を行われ、9日12日には遂に巨文島海洋天正宮の奉献式を挙行されました。この「海洋天正宮」を圓母平愛財団の本拠地に定められ、2012年7月26日までの約10ヵ月間、お父様は実に25回にわたって巨文島を訪れておられます。この様な中、60フィート天艇号をお父様の理想の形に改良しつつ、更に48フィートの天艇号を4隻建造されつつ、中原天地への玄関とも言うべき丹東(中国遼寧省)に大量生産工場を建設する事を指示、推進しておられます。

麗水国際海洋博覧会

一方、2012年5月12日、お父様の主導によって、遂に環太平洋時代の真の到来を意味する「麗水国際海洋博覧会」が開催されました。(8月12日まで)

麗水国際海洋博覧会開催により、環太平洋時代が到着



麗水海洋博で終結した2009年～2012年の海洋圏3年路程 天艇号の建造と奉献式—2011年2月17日

2011年2月17日、韓国・麗水でお父様のボート造りの完成完結を意味する天艇号(60フィート)進水式と生涯実現目標としてこられた石膏モールド世界説明会を行う。この日を「神の日」の行事よりも大切と語られる。「天曆1月1日(2月3日)までに完成しなければ、北朝鮮が3度目の攻撃を仕掛けてくる」とも語られる。



ジェット推進装置を採用した天艇号

写真からスクリューやドライブ装置の無い事が分かる

シリーズ船名 ST60
全長 60ft (約19.70m)
全幅 15ft (約4.58m)
ボルボ900ps エンジン2基
最高速度 約42ノット(78km/h)



Memo

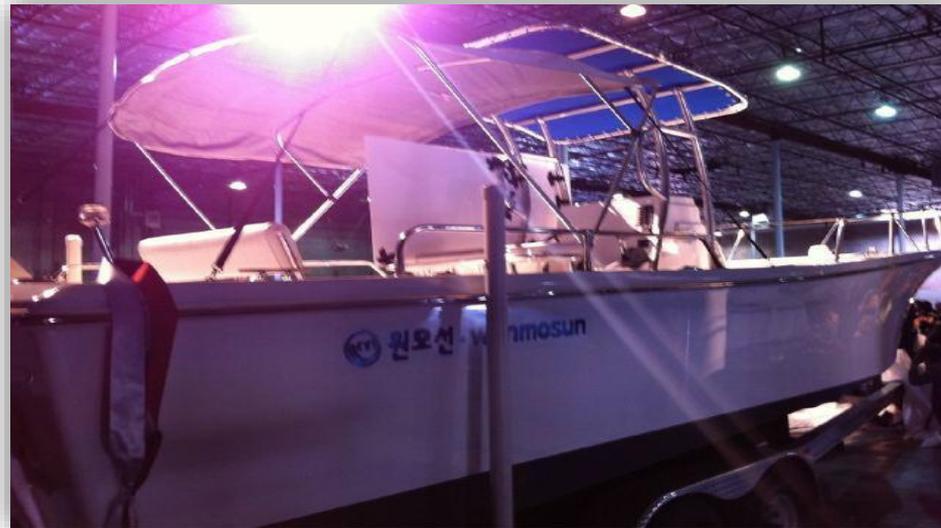




麗水万博で終結した2009年～2012年の海洋圏完成3年路程 不沈・圓母船(24フィート)進水式—2011年8月18日

2011年8月18日 ラスベガス (5月25日に初めての進水式が行われる)

- 環太平洋海洋趣味産業時代の創出により、人類の食糧問題の完全救済を宣言される。
- 「圓母」はお父様のボートのブランド名。「圓母平愛財団」はノーベル賞に代わる「後天時代の最高の賞」を出す。24フィートは市場で最もポピュラーとなるボート。(キャビンボートを完成させるよう指示される)





麗水海洋博で終結した2009年～2012年の海洋圏完成3年路程 巨文島海洋天正宮奉献式—2011年9月12日

真の御父母様が人生の3分の2(50年)を投入して形成してこられた海洋文化文明のモデル基地(野牧、海洋教会、ジャルジンと追求してこられた理想社会のモデル)の中心。「氏族メシアが、国家を代表できる名を成し、この業を全てを成した全てを成した。」

お父様の御聖和後41日目の10月14日にお母様が最初の訪問地として訪ねてこられ、巨文島の人々(主に漁師)全員(約5000名)を寝ないで伝道するよう指示される。



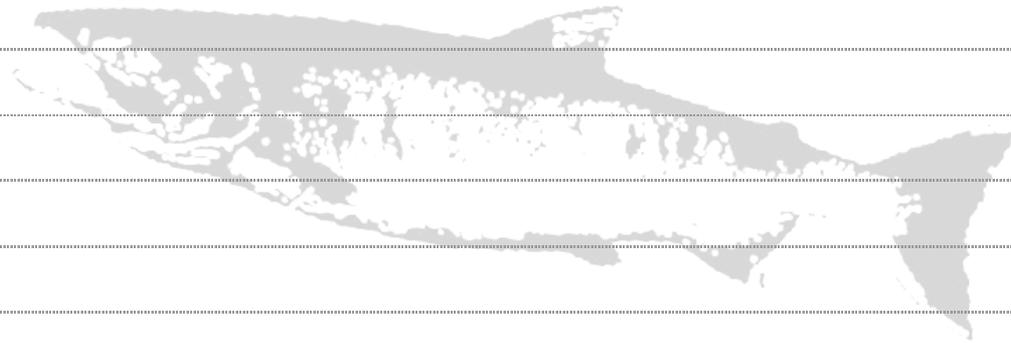


麗水海洋博で終結した2009年～2012年の海洋圏3年路程 に同時進行の「2012年までの私たちの海洋摂理10年路程」

「2012年までの3年路程」と同時進行の「2012年までの10年路程」

- 2002年10月 お父様がハワイから佐藤（当時TWM）社長へ電話をかけて来られ、お父様が10年路程を出発された事を語られる。
 - マタイ伝18章18節「地で解く事は天でもみな解かれる」とイエス様が語られた事の意味を尋ねられ、「それはお父様があなたに命令した事を全て成す事によって地上天国はつくられ、天上天国も実現されるという意味だよ」と語られ、「まだ出来ていないではないか、再度（1993年から2002年までの10年の指示に対して）10年をあげるので必ず世界最大のボート会社をつくり、全て果す様に」「それをやらなければ霊界であなたには会えない」とも語られる。
 - その時、「お父様でさえ、地上に天国が出来なければ霊界に行く事が出来ない。先生も2012年まで10年路程の出発をする。責任を果して中原天地で会おう」と語られる。
- 2002年10月「世界釣りトーナメント開催」をもって、「麗水海洋趣味産業モデル都市」建設の為の出発が成される。—お父様御自身の10年路程出発。
 - この時、高賛允社長が世界海洋摂理担当補佐官として選ばれる。2003年11月麗水がリクリエーショナル経済特区に認定された事を受けて麗水に300万坪の土地を購入。
- 2004年8月7日 海洋趣味産業摂理世界化の為の人事発令（EGで）—「もう佐藤の上には上司は立てない。跳躍、飛躍して思いっきりやりなさい。」
- 具体的には、8月21日、南北米交代人事（漢南洞で—前述）—そして、アラスカでの調整会議でD-Dayの為の「特別指示」そして「南米をやったら環太平洋14カ国をやり、アフリカもやって、韓半島から中原天地で会おう！」と語られる。

Memo





「3年路程」と同時進行した2012年までの 「ホビーワールドマリン」の歩み

基元節前の主要な歩み*

2005年7月	「(株)海洋平和」として投資家募集を日本で開始する。
2008年2月～現在	23万坪の土地をアスンシオン(パラグアイ)近郊に購入
2010年12月	ボート工場のマスタープラン(計画書)がパラグアイ環境大臣に正式認可される。(SEAM)
2011年8月	ノースカロライナ州(米国)でボート製造技術者の育成を始める。
2012年6月	株主総会でボート販売開始宣言を行う。
2012年7月	最初のボート工場がパラグアイで建設完了
2012年10月～現在	ボート工場の製造設備、ボート製造開始

*基元節前後の主要活動は後続のスライド「3年路程の出発の為の摂理」でまとめています。



「3年路程」と同時進行した2012年までの 「ホビーワールドマリン」の歩み—初めてお父様に御報告



高賛允社長を通してお父様に御報告

- 2012年1月18日 巨文島で、高賛允社長は私たちの南米プロジェクトについてお父さまに詳細に御報告。(2011年4月に御報告の為に作られた報告書) 報告を聞かれながら、お父さまは「佐藤がんばれ」と語られる。(同席しておられた小山田会長談)
- 「東京ボートショーが出発だよ」と語られ、この時お父様は、佐藤にウオンモンソンの「案」を創らせるよう指示される。
- その後、すぐ、ラスベガスに移動されたお父様は、同じ報告を同じ様に第一日目、第三日目の訓読会でも報告させられる。その時「D-Dayまでに達成しなければならない事は何か」と劉正玉会長に尋ねられ「ボート事業です」と答えられる。そこで劉正玉会長は、「日本での(株)海洋平和のプロジェクトを認可したのは自分です」と証される。



PART1 VISION2020 概観



「3年路程」と同時進行した2012年までの「ホビーワールドマリン」の歩み

2012年3月1日、お父様は巨文島から横浜ポートショーに、「Good Go ボートだけではなく、天艇号、石膏モールド、ヘリウムガスによる不沈システムも一緒に展示しなさい」と伝言してこられる。私たちはキャビン内に写真展示をする。



Memo





「3年路程」と同時進行した2012年までの「ホビーワールドマリンの歩み」 6月30日株主総会へのお父様の御指示



「日本に12ヵ所のボート販売所をつくりなさい」
と高賛允社長を通して指示してこられる。

お父様が願っておられる規模のボート工場は月産120隻の工場。
この指示は、初めは月12隻販売で出発し、3年後は月120隻のボートの生産・販売ができる規模を願っておられる事を示している。





2012年6月30日(株)海洋平和総会に参加された高社長大変驚かれる
(この時までお父様は洪水審判が必要かもしれない事を示唆しておられた)

- 総会の二部講演会で、私たちが、東日本大震災復興の為の「災害支援艦兼巨大観光船プロジェクト」を発表した事に高社長は大変驚かれる。
- なぜならお父様は最近、高社長に「ハワイ島の様な巨大船をつくりなさい。ノアの洪水審判の様な事が起こるかも知れない。祝福家庭を守らなければならないからである」と語っておられたという事です。





2012年までのホビーワールドマリンの歩み 2012年の株主総会をお父様にご報告



7月5日(株)海洋平和総会(6月30日)の報告書を麗水のホテルで高社長に手渡す。



2012年の株主総会の報告

2012年7月6日、ミード湖のボート上でお父様に高賛允社長が、(株)海洋平和平成23年度総会・ボート販売結団式の報告をされている様子。

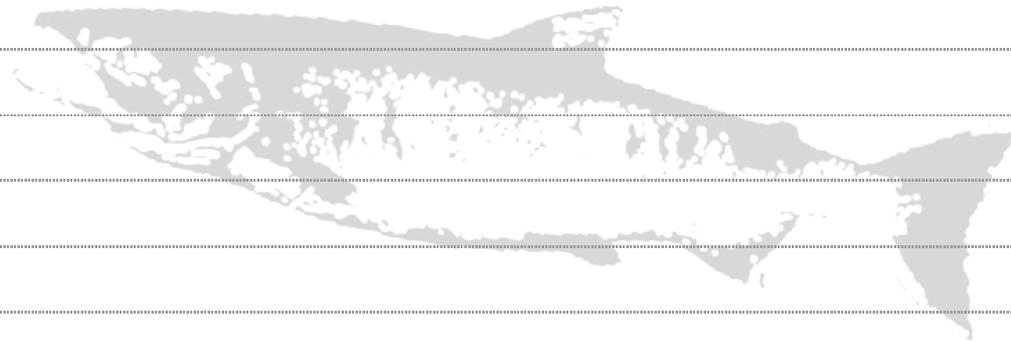
このご報告を聞かれ「全てを成した」「全て終わった」と語られる。

「こんなに嬉しい時に寝ていられようか、神様と喜びを分かち合おう」と語られ、3日間徹夜で釣りをされる。そして「これで安心して目をつぶって霊界にいける」と語られる。

278隻のボートをD-Dayまでに!



Memo





2012年7月23日朝 洪水審判を行わずに地上・天上天国が建設されていく事を示唆される

- 7月6日~14日の間、ラスベガス・ミード湖上で(株)海洋平和の総会報告を聞かれた後、「全てを成した」「全て終わった」「ようやく目を瞑って霊界にいける」と語られた後、15日韓国に帰ってこられる。
- 本体論教育/7月16日女性アベルUN創設大会
- 7月22日13時間の訓読会の後、「特別儀式」
- 7月23日の朝、「今日は先生が条件を立てて50日目である。今日はノアが新天新地に降り立った日である」と語られる。
- 7月24、25、26日 巨文島で天艇号の最終チェック
- 5月12日~8月12日麗水海洋博覧会
- 8月13日最後の祈り「全てを成した」



お父様 御聖和される前の最後の祈り
2012年8月13日(天曆6月26日)

真のお父様 最後の祈禱

天基三年 天曆六月二十六日

今日 最終的な 完成の完結を

お父様の前にお返しいたしましたので

今までの一生涯を

お父様の前にお捧げしたと思っておりますので

そのみ意のままに

全生涯を全うする時間を 精誠を尽くして

最後の時間を備えて

氏族メシアが 国家を代表できる名を成し

この業を すべてを成した

すべてを成した

アージュ



韓国が世界の頂点に立つ「第三のローマ」へ

環太平洋時代の到来とともに、韓国が世界の頂点に立つ「第三のローマ」となる

- 「麗水海洋博」により、遂に「環太平洋時代」が到着－2012.8.12
- 「麗水海洋博」により、世界中の「海洋先端技術」が韓国に集結
- 「麗水海洋博」で韓国に世界的海洋の「運勢」、「天運」到来
- 統一思想(神主義・真の父母主義)による真の海洋文化文明の出発 (神様文明開闢時代の出発)
- 海が地球に残された最大の資源の宝庫であり、人類飢餓問題解決の要⇒同時に「海を制するものが世界を制する」事が改めて実証される新時代
- 環太平洋時代は新生(真の海洋国家としての)「韓国、日本」が世界を制する新時代、特に韓国が第三のローマになる時代

Memo





「3年路程」の中で 「パラグアイ」と「日本」の復帰を目指す

- 韓国とパラグアイは統一文明圏の地軸の両極
(文明の中心地を形成する3要素－春夏秋冬の調和、海と陸と重なり合った所、最善の食糧が生産できる所－人間が生活する最適地－参照) たとえアメリカが御父母様を迎えなくとも韓国と南米で天一国は出来る。
- 日本は韓国への環太平洋時代の入口
パラグアイ復帰、日本の復帰、韓国の復帰が順序
- 巨文島海洋趣味産業モデル基地、麗水海洋趣味産業モデル都市の完成により、韓国の再生と韓半島の統一が完成
- 7年路程の中で43カ国復帰により、地上・天上天国完成



2020年まで43カ国復帰、韓半島統一

お父様が御聖和される前の8月13日の祈り

「氏族メシアが国家を代表できる名を成し、この業を全てを成した。全てを成した。」

『お父様の生涯をかけた「天国理想のモデル建設」の闘い

野牧(1955~1960)ー海洋教会(1980・10・1~)ージャルジン宣言(1995・4・1~)ー巨文島海洋趣味産業モデル基地建設、麗水海洋趣味産業モデル都市建設(2002・10~)』(参照「海洋趣味産業時代の到来の宣言」)

2013.2.22基元節(D-Day)後天時代出発 はっきりした戦略が必要

VISION2020とは ⇒ 2020年まで地上天国を建設する闘い



2012年までのホビーワールドマリンの歩み 麗水海洋博の視察 7月5日~8月12日



2012年7月6日(株)海洋平和麗水ツアー一行は巨文島天正宮を訪問。「ここは靈肉両面の全ての問題が解かれる所」とお父様が語られたとの説明を受ける。



韓国マスターマリン造船所を訪問

ソホ・オーシャンリゾート・タワーホテル(2012年2月27日落成式、17階建て)を訪問



麗水海洋博の視察

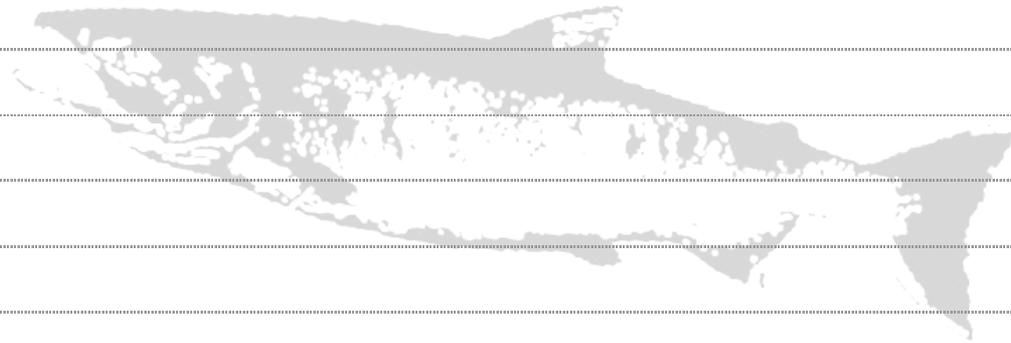


1953年7月5日お父様が興南監獄解放後、ポムネッソル教会を開かれ、原理原本を脱稿された頃、「環太平洋時代よ早くこい(自叙伝)」と叫んでおられた釜山から太平洋を望める山にある聖地。ここを私たちは訪問致しました。



2012.07.05

Memo





アクアムンド株式会社(HWMパラグアイ)の新しいロゴ



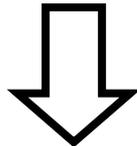
ACUAMUNDO SA
Hobby World Marine Group



2016年までの海洋趣味産業摂理 3年路程



2009.2.13「先生のやるべきことは全てやった。あとは『海洋圏』だけが残っている。…先生もこれから韓国に帰って海洋圏の摂理を始める」



3年路程

麗水万博により環太平洋時代到来

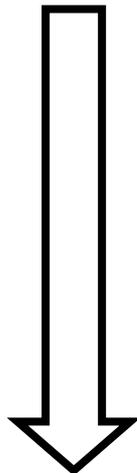
2012.8.13 麗水万博最終日の翌日「全てを成した」

2012.9.3 お父様の御聖和

2013.2.22 基元節 後天時代到来

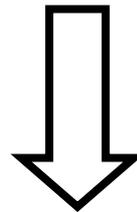
2012.7.17-22

訓読会において「3年から5年、遅くとも7年で地上天国は建設される」と語られる



7年路程

地上天国建設
VISION2020



3年路程

2016年2月22日までの海洋趣味
産業摂理

2020 VISION2020 43カ国復帰と韓半島統一

は建設される」



2016年までの海洋趣味産業摂理の3年路程 3年路程の指針 (1/2)

御聖和前のお父様から私たち「海洋平和」に対する御指示

- 2012年6月30日～7月6日の御指示
 - 「D-Day(基元節)までに日本で278隻のボートを購入しなさい。少なくとも、まず70隻は達成しなさい」
 - 「12カ所の(試乗会用のボートを持った)販売所を作りなさい」
 - 「24フィート キャビン付ボートをつくり、販売しなさい」
- 従来からのお父様の方針を、2012年7月6日(高社長を通して)報告書を通じ、確認した御指示
 - 2016年3月31日までに月120隻のボートを販売する。
 - 株主一人が120名会員のボート釣りクラブを作る。(合計24万会員)
 - 海洋趣味産業摂理基金制度を作る。

Memo





2016年までの海洋趣味産業摂理の3年路程 3年路程の指針 (2/2)

• 日本におけるゴール

- 株主全員が、3年以内にボート操縦免許証を取得し、ボート販売員になる。
- 12販売所構築に関する方針
 - 12箇所を海洋趣味産業モデル基地に発展させる。
 - 1 販売所につき12隻の試乗用、あるいはチャーター用ボートを配置する。
 - 1 販売所につき、2014年3月からは月1隻、2016年3月には月10隻の販売に挑戦。
- 120名ボートクラブ会員24万名目標
- 2016年まで月4億円の海洋趣味産業摂理基金(自動振込み制度)を達成する。(2013.11.1より基金募集を開始)
- 宮城県に国際海洋観光都市をつくる。(2020年には東日本海岸時代をつくり、国家、アジアに橋をかける)

• パラグアイにおけるゴール

- 2016年までに200名の人材を募集しアスンシオン基地に派遣。2014年6月まで70名
- 2016年までにアスンシオンに海洋趣味産業モデル基地を構築、1500名~2000名規模
- ナビレキにベニス以上の「水の都」を築く基盤を構築する。

• 世界に拡大、3年で6大陸にボート工場を建設する



2016年までの海洋趣味産業摂理の3年路程 3年路程の出発の為の準備摂理(回転軸の支点づくり)

基元節(D-Day)を迎えるに当たってのホビーワールドマリングループの活動

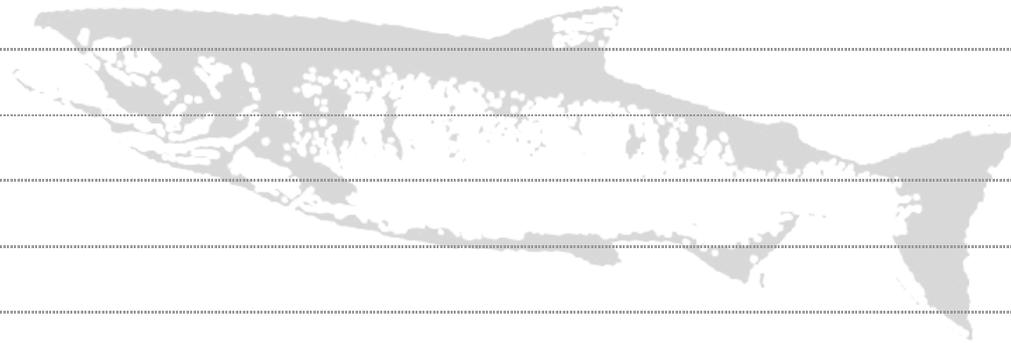
2012年12月25日	ウォンモソンロゴがお母様によって決定
2012年12月26日	第一号ボートファンド「パラグアイボート工場建設の為の投資募集」完結
2013年2月11日	「海花東日本復興の会設立一周年講演会(東海岸時代創出宣布)」及び「8000株式募集完結、70隻契約達成祝賀と278隻契約、12販売所設立結団式」(仙台シルバーセンター)
2013年2月22日	パラグアイ・アスンシオンボート工場ボート製造本格化と原初・根源・勝利聖地ナビレキでの基元節式典奉獻
2013年3月7日~10日	インターナショナルジャパンボートショーに「天艇3号とTE2810」を出展 一般市場へのボート販売準備開始
2013年4月6日	(株)海洋平和創立8周年記念祝賀と「ビジョン2020必勝の為の3年路程結団式」挙行(本社事務所)
2013年4月24日	石巻ボート工場ボート製造出発式



278隻のボート導入の意義と目標

- お父様の20年来(1990年以來)の悲願「ボート導入」
- 日本の祝福家庭が海洋趣味産業の主役となる為
- 日本の文化・文明の回轉軸
- 日本でのボート販売の目標(月120隻=年1440隻)
- 日本と世界最大のボート会社実現の基盤
- D-Dayまでに70隻、お父様御聖和一周年まで278隻契約
- D-Day2周年(2015年2月)までに70隻は導入。その為には2014年6月までに70隻分のボート代金全額納入。278隻は2015年末までに導入を目指す。

Memo





2016年までの海洋趣味産業摂理3年路程

お母様、圓母船ロゴ決定—2012.12.25



ウォンモソンロゴ決定-2012.12.25
 12月25日、お母様によって最終決定されたウォンモソンロゴ(お母様がサインされる)



ホビーワールドマリンロゴ最終決定-2012.12.25
 「ウォンモソン」ロゴ を用いた
 「ホビーワールドマリン」ロゴ

PART II

真の海洋文化文明の創始者 としての文鮮明先生の93年間の 御生涯

- なぜ生涯の3分の2もを海に投入されたのか？
- 50年もの期間を投入し造られたボートとは？
- 歴史的海洋文化文明の創始者



PART 2 真の海洋(神)文化文明の創始者 文鮮明先生

- **海洋(釣り)の王者 文鮮明先生**

釣り道を極められた方、生涯の3分の2の時間を海に投入された方

- **海洋(ボート造り)の王者 文鮮明先生**

再臨期の為に準備されたFRP素材

世界最大のFRP漁船建造

不沈16フィート~60フィートのボートを「200海里海洋一日生活圏時代」の為に建造

アメリカボート業界をリード 石膏モールド開発

- **真の海洋文化・文明の創始者、文鮮明先生**

有史以来の真の海洋文化文明（海洋趣味産業摂理）の創始者

海洋趣味生活を基盤に摂理の勝利圏を拓かれていかれた。海洋精神の本質が真の愛。海洋教会を中心とする海洋趣味産業モデル基地。理想社会のモデル(氏族メシアが国家を代表する名を成して)を創造



海洋(釣りの)の王者 文鮮明先生

- 幼少時代より釣りの天才。池の主を釣る。うなぎを口で捕まえる。
- 真の釣り師(チャンピオン)。生涯の3分の2(40年)を釣りに費やす。
- グロスターで伝説のジャンボマグロ釣りのチャンピオンとなる。13年間、150隻のワンホープで続けられたオーシャンチャレンジ
- アラスカでの釣りの開拓。妖怪が出ると言われる所を開拓。キング、シルバー、レッドサーモン、ハリバット。韓国の教授はじめ多くのリーダーを招待して、トーナメント等を繰り広げられた。
- ダンベリーでの証。400日間釣りの話をして「魚の生まれかわり」と噂される。
- 南米では、ドラド、パクー、ボガ、ピンタード釣りのチャンピオン
- プンタデルエステのホルビーナネグラ釣りのチャンピオン
- ニューヨーク海域では、ストライプトバス、ヒラメ、シーバス、ブラック、ブルーフィッシュ釣りのチャンピオン
- フロリダでは、ハワイ・コナでのブルーマリン釣りのチャンピオン
- 濟州島では、ブリ、サワラ等の釣りのチャンピオン
- ラスベガスでのチャンピオン
- 海での活動を基盤にされ諸々の勝利圏を築かれる。
7・8節制定、サタン屈服の為の闘い。2000年21日釣り路程の上に海洋還元式
韓国麗水で85日間の海への投入の上に双合十勝日(後天時代を開く)宣布
ベーリング海での釣り、プロセッシングトローラー(Ocean Peace)南極海でのクリル船
(トップオーシャン)



なぜ文鮮明先生は海に出られるのか？

文鮮明先生は「人生の3分の2を海に投入している」と語られている。

- 人間は全被造世界の総合実体相 > 3分の2は水と係わって生きることが自然
- ダンベリーから解放された直後のお父様の行動。まず最初に海に出られる。
- 文鮮明先生の摂理的巡回先では責任者はまず釣りの準備をして待たなければならなかった。
- 嵐の中でも釣りに出られる。「死線を越えて闘われる」

なぜそれほど投入なさるのか？

- 単なる世俗的な趣味でも精誠条件だけのためではない。

海洋摂理を通して真の父母として成就しなければならない明確な目的があるからに違いない。



なぜそんなに海に出られるのですか？

「それは神様に会おう為です」

– UTS卒業生に「3年間の海洋訓練」を指示される中で

「国家を指導する為」

「海は神様の被造物の中で最も創造の妙味が現われているところ」

「海での生活をしないで霊界にいけば重大な支障をきたす」

「海での生活は、陸上での生活より、人間の頭脳を10倍よくする」
（「環太平洋摂理」より）

Memo





海洋摂理の出発

1963年「天勝号奉獻」と「万物の日」制定

- 海洋摂理は「万物の日」の制定によって始まった。(1963.7.26)
- 「万物の日」制定の意義
 - 人類の万物世界に対する主管権を復帰する闘いが始まった日
 - 「124双祝福」と「天勝号奉獻」が前提条件となる。
 - 神様の被造世界に対する所有権の転換
- 天勝号の奉獻(1963.6.26)の意味
 - 象徴的奉獻ではない。
 - 世界の海を主管する為 (環太平洋摂理)
 - その当時から教会の食口を連れられ海に乗り出しておられた。



天勝号建造中の文鮮明先生御夫妻



天勝号奉献



1963年6月26日 天勝号奉献



初期の韓国において釣りを主導される文先生（右端
仁川 朱安前の海で）



天勝号上での文先生
御夫妻を中心とする
統一教会主要指導者



天勝号進水式

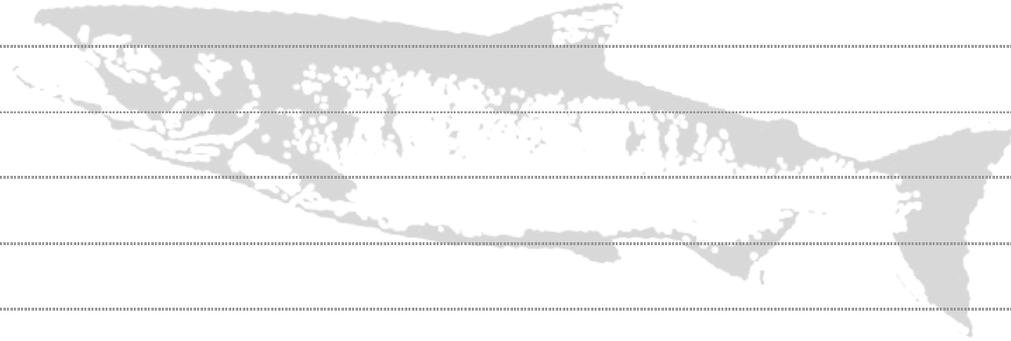
[自叙伝P161に見る天勝号進水式における記述]

第四章「天勝号進水式における御言葉」161ページではまず次の様に語られています。

- 「1963年には、もう少し大きな規模の事業を始める事ができました。その年は、『天勝号』という船を建造して仁川市万石洞の埠頭のほとりで進水式を行っています。信徒ら200人以上が列席した場で漁船を海に送り出しました。」
- 「水は私たちに命を与えてくれる特別なものです。私たちは皆、母親のおなかの中から誕生します。母親のおなかの中とはまさに水であり、私たちは全員、水から出てきたのです。人間が水から命を得た様に、水の中の試練を経てこそ陸地で完全に生き残ることができる、という願いを込めて、私たちは海に船を送り出しました。」
- 人間はお母さんのおなかの中から生まれた後、まず海で生活すべきです。「海での生活を通して、海の試練を経て、その上で陸上生活をしてこそはじめて、完全に本来神様が創造された目的の通りに生きる事が出来る」という思想を、既に文鮮明先生はこの時から確立しておられた事を知る事が出来ます。
- そして、「私はすぐに海洋時代がやって来ると直感していました。海に浮かべた『天勝号』は小さな一歩だとしても、この天勝号が海洋時代を開く貴重な一歩でした。私は、その時すでに、もっと広い海やもっと大型で高速の船を頭の中に思い描いていました。」

この時点で既に、お父様は「海洋時代」の到来を予期し、その時代を思い描かれると共に、200海里時代(370Km沖までの海域時代)の為のボート建造を考えておられた事が伺えます。そして、この「天勝号進水式」が真の意味での「21世紀海洋時代の幕開け」なのです。

Memo





陸上文明と海洋文明の主役

- これまでの「陸上(墮落)文明時代」の主役は常用自動車(世界10大企業の内、9企業が自動車、石油関連)

「今からは自動車を持っている人は、皆ボートを買う時代が来る。一日10隻つくって売る時代がすぐ来るので、その為の準備をしておかないといけない」

2004年8月16日 米国ニューヨーク・イーストガーデンで

「ボートを製造するのをやめていたら、天一国は出来なかった」

2004年3月16日、ニューヨーク・イーストガーデン訓読会で

- これからの「海洋(神様)文明時代」の主役は「常用ボート」(プレイング・ハル、趣味生活ボート)
- その為に北米、南米、韓国(日本)にボート工場を準備(環太平洋の三極点)

2005年 世界の売り上げトップ100社
(「Fortune」誌、Global 500による)

世界のトップ10に居並ぶ大企業の売上規模は、小さな国の国家予算をはるかに超える。その従業員数も数万人から百数十万人と、大きな都市さえつくれそうな規模となっている。業態はほぼ石油と自動車産業が占め、例外的にウォルマートが小売り業界で群を抜いている。そのウォルマートが連年トップの座を譲ったのも注目だ。

トップ10企業

順位	社名	業種* (主なもの)	売上** (円)	純利益** (円)
1	エクソン・モービル(米)	石油	39兆4328億円	4兆1911億円
2	ウォルマート(米)	小売り	36兆6159億円	1兆3028億円
3	ロイヤル・ダッチ・シェル(蘭・英)	石油	35兆5808億円	2兆9361億円
4	BP(英)	石油	31兆0416億円	2兆5916億円
5	ゼネラル・モーターズ(米)	自動車	22兆3421億円	-1兆2258億円
6	シェブロン(仏)	石油	21兆9798億円	1兆6355億円
7	ダイムラー・クライスラー(独)	自動車	21兆5883億円	4102億円
8	トヨタ自動車(日)	自動車	21兆5534億円	1兆4059億円
9	フォード自動車(米)	自動車	20兆5564億円	2348億円
10	コノフィリップス(米)	石油	19兆3352億円	1兆5694億円

昭交社「世界なるほど地図張2007」参照



海洋摂理の目的

海洋摂理の目的は何か？

- 人類の万物主管権復帰のため
- それを前提に、人類の食糧問題を解決する。

飢餓食糧問題の実態

- 一日6万人、一年に2千万人が死亡
- 3分の2は恒常的食糧不足、カロリー不足（米国ワールドウォッチインステチュート）

人類の解決の為の努力

- UN食糧プログラム
- 食糧サミット（1976年と1996年にローマで）開催
- 食糧問題解決の見通しは、更なる世界的人口増加と大気汚染、環境破壊などで食糧増産が見込めず不透明。このまま推移すると食糧戦争勃発
- 余剰食糧品提供は一時的効果、根本的解決策見当たらず。
- 世界共通の食糧問題解決の鍵を握る諺「一匹の魚をくれる人の恩はその魚を食べたら忘れる。しかしその魚をどの様にして獲るかを教えてくれる人の恩は生涯忘れない。」

原因が不明確→人類の食糧問題は人類の歴史上一回も完全に解決された事はない。



食糧問題：原因と結果と解決策

原因

- 人類始祖の墮落により万物主管能力を喪失(創:3・17~19)した時から。一人類は歴史の当初から食糧問題を抱えている。

結果

- 食糧問題の発生:人間は万物による主管を受けるようになる。科学発達の停滞
- 奴隷労働、階級社会、南北問題、拝金主義、唯物論、唯物万能主義などが現象化

解決策

- 人類の真の父母と真の父母の兄弟だけが解決可能
- 海洋摂理、海洋趣味産業摂理の創出
- 海には400億人を食べさせられる魚が生息できる。「海の環境保護」「増殖事業」「海洋牧場」等の創出
- 海産物が人間の3分の2の食糧であるべき。WHO(世界保健機構)、日本人の平均健康寿命は世界一、これは魚介類の蛋白質のためと発表



「一年に2千万の人が飢えて死んでいます。一日に六万名です。この事にアメリカの大統領が責任を持ちますか。ソ連のゴルバチョフが責任を持ちますか。誰が責任を持ちますか。世界の誰が責任を持つのでしょうか。真の父母と、真の父母の兄弟が責任を持たなければなりません。ゆえに海に関するものは20年間計画して全て準備したのです。」

『環太平洋摂理』12頁 第一章 「21世紀は海洋の時代」より

Memo





麗水万博で終結した2009年～2012年の路程 圓母船(ウォンモソン)進水式メッセージ

2011年8月18日、ラスベガス 圓母船 (ウォンモソン)奉献式・進水式での文鮮明先生のメッセージ

- 2012年世界海洋博覧会開催を控えた韓国の美港麗水とフーバーダムを中心としたコロラド川流域などが、名実共に東西海洋レジャー産業のハブとして伸びることができるように今日の進水式を持たせて下さった神様に感謝を捧げます。
- 貴賓の皆様、今日(こんにち)世界人口の中で、ほとんど10億に近い人々が飢えに苦しんでいます。平均6秒ごとに1人、1年に2千万人が死んでいっているのです。特別に多くの子供が栄養失調で命を失っているのです。UNは2015年まで飢餓人口を半分に減らすと宣布しましたが、地球温暖化で穀物生産量が減り、専門家たちはかえって2020年になれば飢餓人口が二倍に増加すると展望しています。
- 深刻な飢餓問題を解決できる代案はどこにありますか？ 本人は地球星の75%を占めている海洋圏こそ、人類の飢餓問題を解決できる資源の宝庫であるという考えです。海は各種公害と資源の枯渇によって失いつつある地球の持久性を回復させて人類の明るい未来を約束する新しい原資材の宝庫であるのです。
- 本人は飢餓で苦しんでいる人類を解放する為に、すでに1960年代から去る50年余りの間、海洋産業に投資してきましたし、ボート産業および釣り技術など海洋技術を開発してきました。1980年代にグッドゴー(Good Go)船舶を建造し、アラスカ・コディアックとメキシコ湾など美国30ヵ所余りに海洋産業の基地を作りました。1990年代にはブラジルとウルグアイを中心に南米海洋産業に投資するなど全世界52ヵ国に世界的な海洋ネットワークを造りました。こういう基盤の上に2000年代、大韓民国南海岸の麗水と太平洋中央にあるハワイを、環太平洋時代の海洋産業のハブとして発展させてまいりました。
- 特別に今日は貴賓を迎え、本人が創案した石膏モールド工法を紹介し、ここに新しい新技術をより一層開発適用して製作した「圓母船(ウォンモソン)」の進水式を持つことになりました。「天艇号」をはじめ「マスターマリ」造船は世界的な次元で船舶産業の新しい地平を開き、韓国とアジア地域の海洋交通に革新を持たらすことはもちろん、生活の質を向上させるのに大きく寄与していくでしょう。



アメリカでの初めの海洋摂理20年

海洋摂理基盤造成時代:

1974年8月1日～1994年8月1日

- この期間は海洋趣味産業時代(1994年～)を迎えるための準備時代となった。
- 神様への誓い
 - 1974年8月1日、「ニューホープ」号でボストン湾上に出られ「20年間で米国全域に海洋摂理基盤を形成する誓い」を宣言
- 文鮮明先生によるボストンでの釣り開拓(1974～1980年)
 - 7年間のジャンボマグロ釣り
 - 新しい釣りの方法を確立
 - ジャンボマグロ釣りのチャンピオンになられる。
 - 統一教会の伝統精神の核心(生きて死の道を行く)を確立

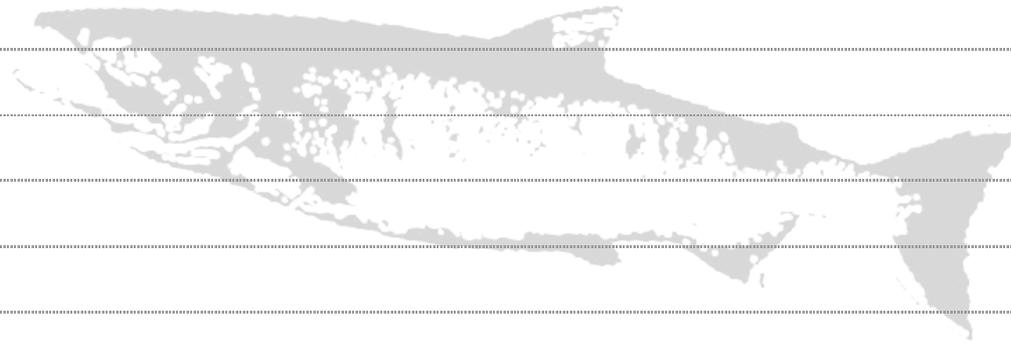


ボストン湾でのジャンボマグロ釣り



新しく購入されたニューホープ号上（48フィート）で、竿とリールを使った伝統的釣りの方法でジャンボマグロ釣りをされる。（ボストン湾）

Memo





ボストン湾でのジャンボマグロ釣り



「ハンドライン」という全く新しいマグロ釣りの方法を編み出される
この方法は多くのマグロ漁師に相続されていく。（ニューホープ号上で）



ボストン湾でのジャンボマグロ釣り



文先生が釣られた最初のブルーフィンマグロ
(約500kg、グロスターマリーナにて)
公式的にオーシャンチャレンジ・プログラムを始
められるまで7年間ジャンボマグロ釣りを開拓し
てこられた。

結局自ら新しく編み出された方法でアメリカに
於けるジャンボマグロ釣りのチャンピオンとなら
れる。(グロスター)

これはそれまでの多くのプロと言われる釣り師
たちが到達できなかったジャンボマグロ釣りの
極意を極めたことを意味するものとなった。

それだけでなく、最も難しく危険なジャンボマグ
ロ釣りを初心者が無事に釣り上げることの出来
る道を開かれる。

(米国マサチューセッツ州グロスター)



敵をも愛する(許す)精神の確立



ブルーマリンをフックオンした文先生(コナ沖・チャーターボート上)

1990年3月25日にもハワイで釣りをされる。この直後にソ連に出かけ4月11日ゴルバチョフ大統領に会われる。
1991年11月30日、北朝鮮を訪問する時もここで精誠条件を立てられる。(自分を殺そうとしてくる敵を許す精神を醸成)

Memo





海洋(ボート造り)の王者 文鮮明先生

- 真のボートビルダー(チャンピオン)
- 天勝号建造、1963.6.26進水式(奉獻式)以来、無数のボートを造り続けられる。
- メイコー、ペースメーカー、シルバートン、ナウテカ等のボートを使用される。
- 1980年 Good Go / グッドゴー 300隻建造
- その後、継続的に40フィート、52フィート、85フィート、102フィートを建造—世界最大のFRP製漁船建造
- 1994年8月1日 200海里を一日生活圏にする為に「16フィート~60フィート」のボート製造、販売の方針
- 「伝道を通して真の父母を証するよりは、海洋摂理を通して、人類の食糧問題を解決する方が、はるかに早く全人類が真の父母を受け入れるようになる」と語られる。
- Master Marine Alabama社買収、漁船、コーストガード、海軍のボートまで、鉄船やアルミニウム船を建造
- 2000年から本格的にアメリカでFRPボートの製造・販売開始
- 2009年から、天艇号(60フィート)および石膏モールド建造



どんなボートを造ろうとしているのか？

理想のボートとは

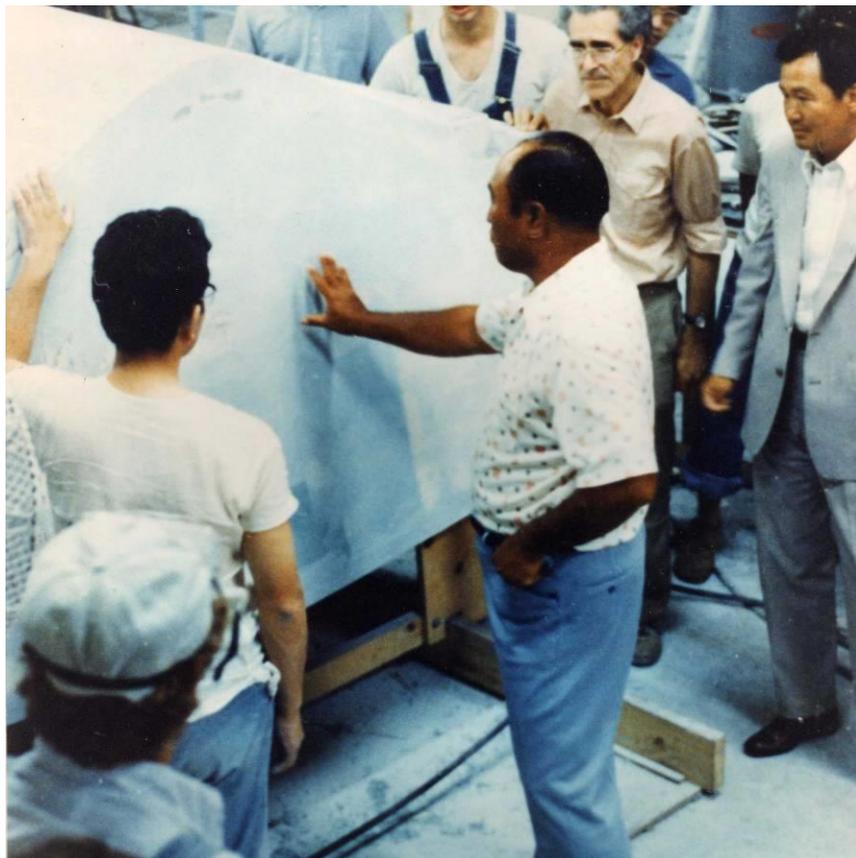
- 海洋趣味産業摂理時代の主役はボート
- まずボートがなければ海洋趣味生活時代は開かれない。
- 200海里沖までを舞台にした海域に適したボート(200海里を一日生活圏にできる—高速でしかも経済的に遠くまでいけるボート)
- 不沈ボート、絶対安全ボート
- たくさん(最も)魚が釣れるボート
- 美女のように美しい(美しく維持できる)ボート
- どこにでも牽引して運ぶことができる携帯的なボート



ボート開発を現場で細やかに指導される文先生（1994年5月、米国ニュージャージー州ジャージーシティ・リバティーハーバー工場にて）



28フィートFRPボート初期開発

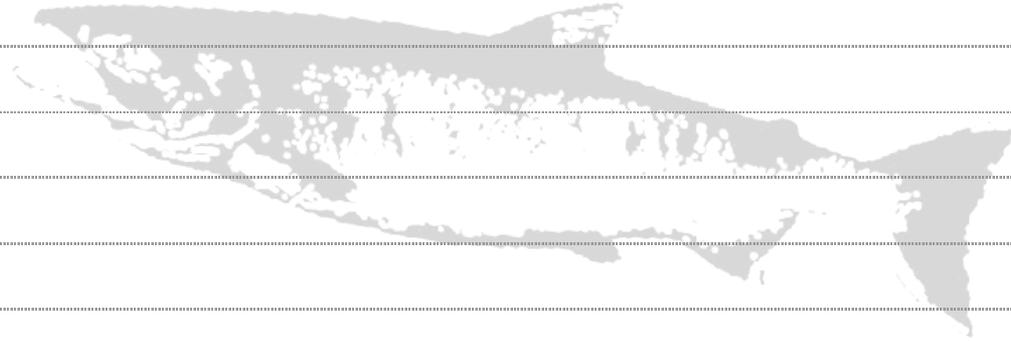


毎日ボート工場を訪れ点検、指導される。(ニューヨーク・イーストサンビル 1980年)



100人の兄弟を動員し、1日1隻ずつ生産
指揮をとる神山威隊長
(ニューヨーク・イーストサンビル)

Memo

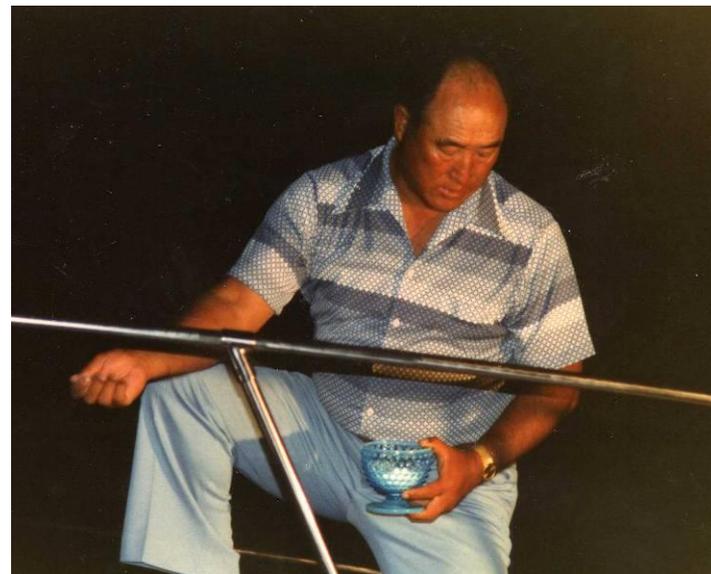




28フィートFRPボート初期開発



第一号目のボートの上で完成を喜ばれる文先生（イーストサンビル）



新しくできたボートを聖別される文先生
（イーストサンビル）



勢ぞろいした150隻のワンホープ号
（バージニア州・ノーフォーク）



世界最大のFRP漁船を建造



「ワンオーシャン I」(85フィート)を建造したメンバーたち(ミシシッピー州シップヤード)



「ワンオーシャン I」を建造する為に指示される。(ミシシッピー州シップヤード)



1994年完成した世界最大級FRP漁船「ワンオーシャン II」
(102フィート・アラバマ州シップヤード)メキシコ湾のゴールデンクラブ(蟹)漁に就航



世界最大のFRP漁船の建造に対する報道

BOATS AND GEAR

100' fiberglass trawler for Alaska fisheries

By Charles Platt
Free Editor

The country's largest fiberglass trawler is taking shape in Mississippi, where her builder is completing the 100' vessel for a late 1980 delivery to Kodiak, Alaska.

The 100' x 27' x 10' Che Chase II is in the Escamuse River at Master Marine's Miss. Plant 1987. The trawler is the second large fishing boat built by the company's fiberglass division. In 1986, the yard delivered the 87' Che Chase to U.S. Marine Marine in Kodiak, Alaska. Like Master Marine, an affiliate of Roy Sun-Ming Mow's (Lokata) family.

These trawlers are the first two of four vessels built by Master Marine designer Henry Masters, Inc. on the Escamuse River. The first two, No. 1 and 2, the third and fourth of the series will average three or eight and will be the Main Plant's first fiberglass trawlers to be built in a single operation.

The hull is split longitudinally along the keel and non-proprietary construction. The hull plating has 17' in length over the keel in the center. At the same time, hull was increased by adding a 7' wide keel section. More than 100' hull each side to the main structure together while the hull is being laid up.

The No. 1 and 2 are scheduled to arrive soon 1987 and 1988, respectively. In addition, the firm would like to be able to build a new line trawler and other boats.

Master says the Che Chase II is larger and



The Che Chase II's designer, Henry Masters, is dwarfed by one of the trawler's two main keels. Below, sections of Master Marine's expandable mold sit in front of the 100' trawler. Multiple sections are on the left; other sections, with space for keel beams, are on the right.



38 NATIONAL FISHERMAN, MAY 1988



Yale built 100' hull over hulls built from fiberglass, but Master Marine is the only U.S. builder to have constructed a 100' fiberglass vessel. The company plans to build even larger vessels of 110' and 120'.

10,000 lbs., and a following sea made it easier to get the bag up the stern ramp. But others also came up the ramp.

In fact, the first big glass trawler had a leaky deck. Masters says that salt water leaked from overhead tanks in the engine room and damaged overhead wiring. A pipe was used in Kodiak to remove the fuel. Che Chase's fuel tanks and galley and in the deck.

The Che Chase II's through-deck fittings and deck planking have been redesigned to eliminate leaks. "We've done a lot for the trawler and will make on this boat will be brought outside through planking. But it's worth it because most dealers," says Masters. "The Che Chase, we packed the work deck with non-skid, 3/4" x 12" leather covered overhead wiring. A pipe was used in Kodiak to remove the fuel. Che Chase's fuel tanks and galley and in the deck.

"The Che Chase II's through-deck fittings and deck planking have been redesigned to eliminate leaks," says Masters. "I'm glad to see it."

More gear for more fisheries... plus worldwide product support.

PURETIC POWER BLOCKS
The original and still the best! - available in 17 models from 10" to 50"

PURSE SEINE WINCHES
Models for virtually any fishery - found on 97% of the world's purse seiners.

TRAWL WINCHES
For vessels 200-3,000 HP - available with

Furuno/Lokata EPIRBs Safety First

When disaster happens at sea, there's nothing more important than the EPIRB (Emergency Position Indicating Radio Beacon) and other marine electronic equipment. That's why you need a Furuno/Lokata EPIRB on board. These instruments are designed for maximum reliability. The EPIRBs are built to last and are easy to use. They are also easy to install. Call your dealer for more information.

KEEP CLEAR

National Fisherman

MAY 1988 VOL. 71, NO.1 \$2.50 IN CANADA \$2.95

Avoiding Collisions at Sea
Sorting Out the Bycatch Problem • How Best to Manage Sharks?
Largest U.S. Fiberglass Trawler • Build-it-Yourself Gillnet Reel

MAY 1988 NATIONAL FISHERMAN 39

米国で最も有名な商業漁船紹介雑誌「ナショナルフィッシャーメン」に世界最大のFRP（ファイバーグラス）漁船が造られたことが紹介され、日本の図書館にもその記録がある。

Memo





徹底的FRPボートの研究開発(16フィート)



(上) 初めての16フィートボートに「美人が生まれたよ」といって喜ばれ聖別される。(下) 全体のチェックと細かい指示をされる。
(アラスカ州コディアック、1993年8月)



コディアック港から16フィートボートのテストに出かける。この日外海は16フィートの波という天気予報
港は静かだがチニアックポイントに行くとき山のような波が渦巻いていた。そこでローリングをされながらテストをされる。



徹底的FRPボートの研究開発(24フィート)



新しいキャビン24フィートボート・TF242第一号。船尾エリア、釣エリア全体をチェックされ、「28フィートと同じ位の広さだね」と非常に喜ばれる。(2001年、ニューヨーク州イーストガーデン)



船首部分一文先生のアイデアどうりであるかどうかチェックされる。



徹底的FRPボートの研究開発(28フィート)



[上] 16フィートボートの船首部分の形、高さ等を指導される。[下] オリジナルグッドゴーボート（エンジン船外機）から新しいI/O型ボート（船内外機）を造るにあたって船尾部分の造り方を指導される。



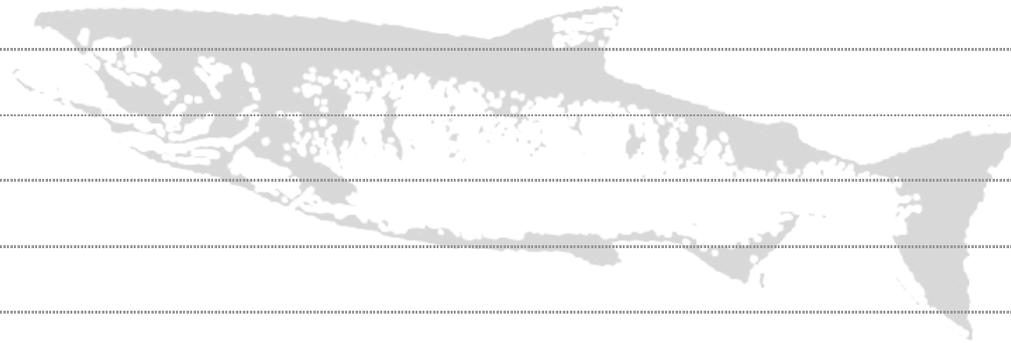
[上] トリムタブ（ボートの走行時の安定を保つシステム）を使わないで安定して走る「理想の船底の形」を追求される。[下] 20フィートボートのパウエリア、パウレールのラインについての指示をされる。



[上] 釣り竿ホルダーの位置なども詳しく検討される。（実践経験に基づいたアイデアによる指導がなされる）[下] デッドライズやディープVの角度等についてテスト結果を聞いておられる文先生



Memo





徹底的FRPボートの研究開発(船底の形、角度)



ハルのデッドライズの角度やその折り返しの部分について最終的指示を与えられる。



どの様にしてスピードを出すボートを造るかについて、更にその完成期限について語られている文先生



24フィート、20フィート、16フィートボートについても、改良点について指導される。



7・8節宣布まで「市場に出せるボートの完成」を



エンジン周辺、エンジンカバー、キャビン内部についてのアイデアを語られる。



新しいキャビンポートTE283の製造前のデッキの上で熟慮されている文先生

この時は南米のパタナール・ナビレキから電話をしてこられ、飛行機でニューヨークに駆けつけて来られて最終指示を与えられる。



理想のボートの完成、そして7・8節宣布



期日(1997年8月9日—旧暦7月7日、7・8節)どうり完成した新キャビンボート「TE283」、ニューヨークハーバー(自由の女神の前)でテストドライブ。快適な走り—「なんという乗り心地のよさ!」というタイトルで米国ボート雑誌に紹介される。

「TE283」の試乗クルージング(マンハッタン島一周)

Memo





理想のボート完成、そして更なる改良



[上]満足されるが、更に研究開発するよう促される。[下]テントをつけて暑く日照りの強い南米でも使用できる工夫を指示される。



[上]「このボートに関してはこれで完成した」と宣言される。[下]キャビン内部を巾広くし、有効利用できるよう「更に工夫」を指示。これは「TE286」開発の為の指示となっていく。



「ファミリー生活型ボート」—南米型ボートについてのアイデアを語られる。



理想のボートを南米へ



新しいボート工場づくりを急ぐよう指示される。



ボート販売市場参入の為のボート工場建設へ

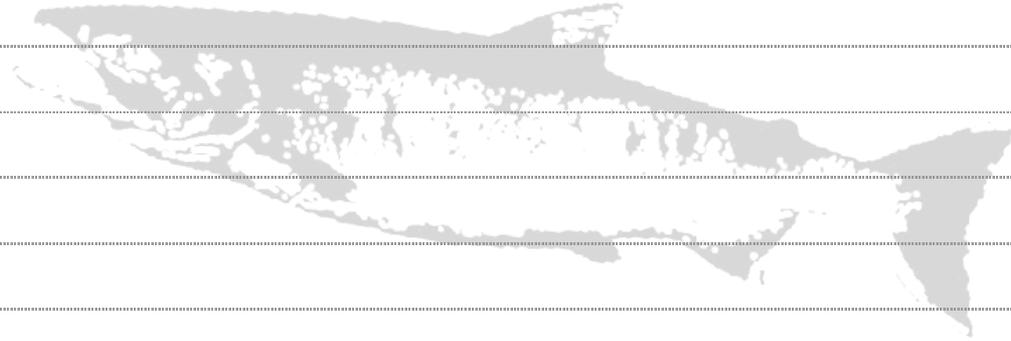


1998年4月、買収決定された新しいボート工場
(ニュージャージー州リトルフェリー市)



稼動するリトルフェリー第一工場内部。既に完成したボートが並んでいる。ここでは月3隻製造が限度なので、文先生は第二工場建設を促される。月30隻製造販売が出発の基準とされる。

Memo





更に大きなFRPボートの研究開発



「3年以内に理想のボート会社をつくるように」

「南米のブラジル・ポルトモルティーニョにボート工場を造るように」「ウルグアイにも工場をつくったがそこにも必要になる」と語られる。

「先生がもっと理想的なボートに改良し完成してあげる」と語られる。

ニュージャージー州リトルフェリー工場



世界的に拡大させていく為の研究開発



「モールドチェック」を通してコストダウン、軽量化、量産体制について指導される
絶対不沈構造について話される。
「全てのポートを不沈構造に。必ずテストすること」



「ガンノールの中をもっと工夫し強いポートに見えるように」 難しい技術的ポイントを語られる。



ハードトップの重さを聞かれ、更に軽くそして強くするように指示される。

「いかに早く世界化することが出来る機能的な船型を作ることができるか」 苦心され工夫される。



ボート業界を牽引していく研究開発



「船首のアイクリートには3本の指が入るように大きくて力強いものにする」「転覆した場合、これが体を支える生命線、二本の指では体を支えられない」と語られる。他の会社も真似をするようになる。



ボート工場の三倍化を強調される。「もっと大きく早く敷地を買うように、早くやるのが鍵」

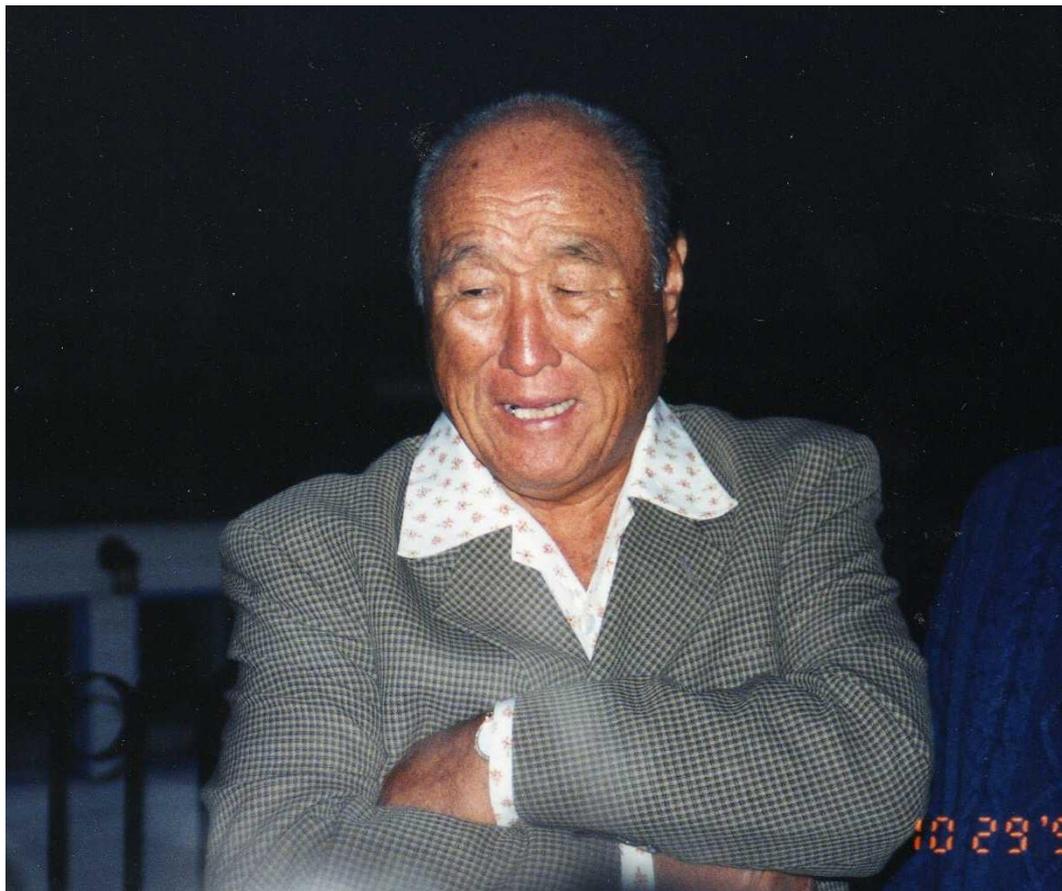
ニュージャージー州リトルフェリー工場

Memo

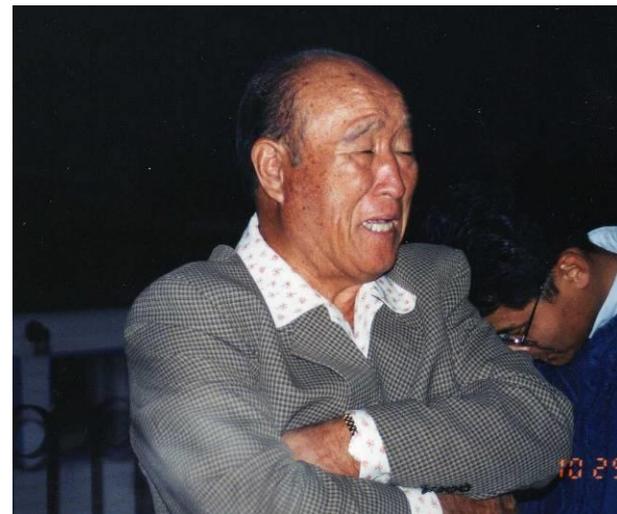




世界的海洋制覇基盤の構築を



1999年10月、リトルフェリー工場にて。「ここリトルフェリーから海洋世界制覇をめざしていく。ここは世界的海洋基盤をつくる準備拠点だ」と語られる。



「ボート製造者は訓読会を工場でもやるように。朝6時から7時にやるとお父様と霊的統一圏が生まれる」

きれいにして「よいとこばかりのボート工場だ」と噂される様に。工場周辺を運転する時も「この工場の人はいい運転をする」と言われるようにと語られる。

「統一教会開拓期の生活基準で働くように。夫婦、子供も一緒に、ボート、フィッシングの指導者訓練をしない」

「米国のボート製造技術者の半分は南米に送る」と語られ、人材教育の重要性を語られる。



真の海洋文化文明の創始者・文鮮明先生

1. 人類始祖アダムとエバが出発させるべき文化は海洋文化文明であった。
2. イエス様の使命も同様であった。(クレタ島ーギリシャーローマーインドー中国ー中原天地)
3. 再臨主の生涯の歩み 「理想社会のモデル構築の闘い」
 - A. 野牧での理想社会のモデル構築の闘い 環太平洋摂理出発 セマウル運動
 - B. 米国30カ所海洋教会設立
 - C. ジャルジン宣言
 - D. 海洋精神(アラスカ精神、グロースター精神、ハドソン精神、パンタナール精神等)の確立
 - E. 海洋趣味産業摂理の到来の宣言、モデル基地、都市
 - F. 巨文島、麗水
海洋趣味産業の12本の柱を確立。アメリカ海洋摂理20年の為に3000億円を投入
4. 真の御父母様 ー内的、縦的、歴史的海洋趣味産業モデル基地・都市の確立

2012年までの母の国の使命 ー外的、横的、現実的「海洋観光趣味産業基地、都市、国の建設(3年延長)

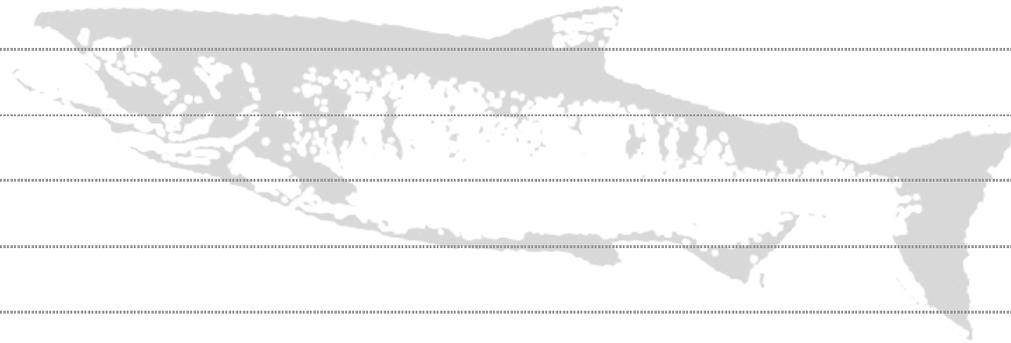
野牧聖地現況報告

일시: 2012년 12월 17 일
장소: 야목교회 성전



野牧教會長
黃 載 晟

Memo



야목성지 의 의미



강도방죽에서 고기 잡이를 하시는 참부모님과 수련생



야목 수련회 기간에 고기잡이 중인 수련생들 1959. 여름



강도방죽

- 강도 방죽은 옛날부터 전해져 내려오는 이야기가 있어서 동네 사람들도 가기를 꺼려하는 곳.

2002.10.12 오전 9 시경
야목성지 중심으로 화성
시에 부지 100 만평 이상
땅을 사라고 지시하심.

그 이후 1억 현금하사



Memo





アメリカでの初めの海洋摂理20年

海洋教会の設立(1980年10月1日)

- 設立目的:創造主の本意に合うように超国家、超宗教、超種族による一つの世界のための舞台をつくるため(「環太平洋摂理」P70より)
「野牧の理想」「海洋教会の設立」(「御旨と海」を参照)趣旨、「海洋趣味産業モデル基地」の理想、「ジャルジン宣言」「平和神経」の趣旨は殆ど同じ
- 全米30カ所海洋教会を設立—200カ所、1000カ所設置を目標とされる
- オーシャンチャレンジ開始(1981年から13年間の間に約6000人教育)
- 米国再生(愛国精神)と地上天国建設の為である
- ポスト勝共運動である事、「海について知らない者は指導者になれない」(「御旨と海」参照)



歴史的海洋教会創設の瞬間



1980年10月1日歴史的海洋教会創設の瞬間（グロスター・モーニングガーデン公館）

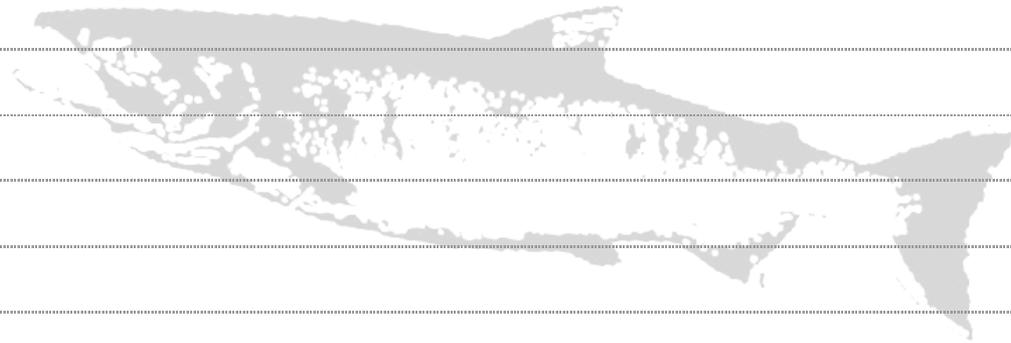


なぜ南米なのか

ニューホープファーム宣言、ジャルジン宣言、サンパウロ宣言



Memo



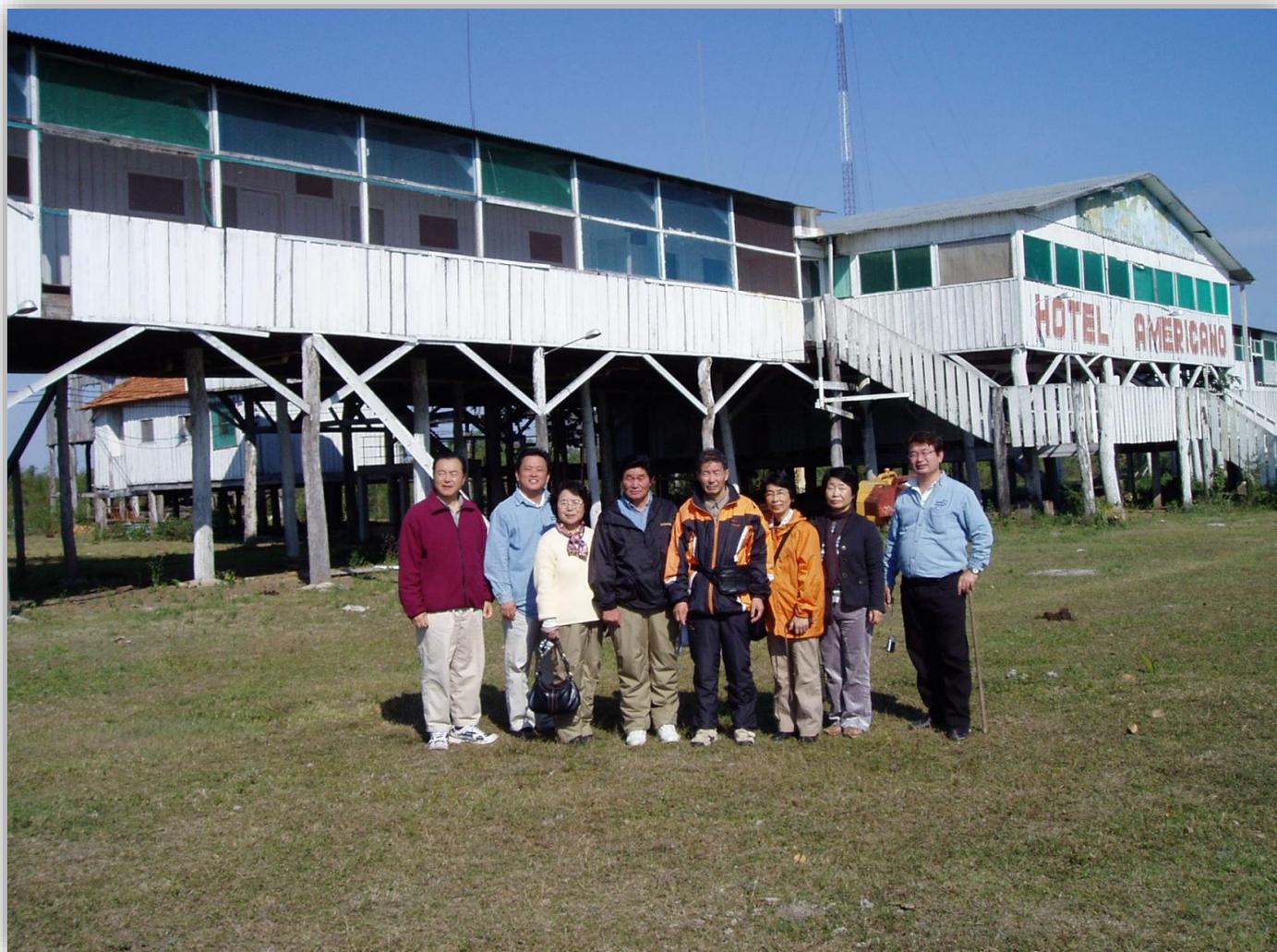


ナビレキの水上宮殿完成予想図





ナビレキ・サタン屈服宣布が成されたホテルアメリカノ





アスンシオンボート工場(出発段階)



Memo





アスンシオンボート工場





南米アスンシオンボート工場及びその関連産業 (海洋趣味産業モデル)基地完成予想図





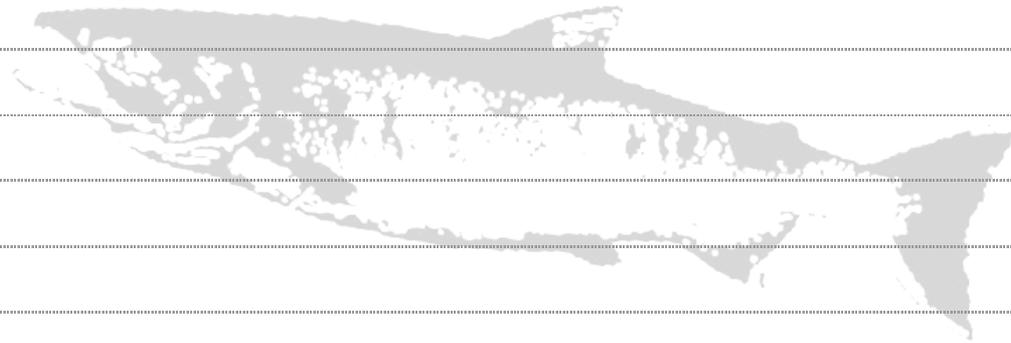
海洋摂理時代から海洋趣味産業摂理時代へ

1993年12月30日に「海洋趣味産業摂理時代の到来」を宣言

1994年は統一教会創設40周年、アメリカ海洋摂理20周年の年。家庭盟誓(1994.5.1宣布)と共に後天開闢時代の道案内としての里程標として宣布された。

- 「海洋趣味産業摂理時代」とはどういう時代なのか？
- 今までは「奴隷労働」の時代
 - 本来人間は趣味という喜びを中心として働くように創造されている・・・しかし、今、人々は「食べること」を中心目標・価値として働いている。
 - 「先生の眼から見ると皆奴隷労働をしている様に見える」
- これからは「海洋趣味生活」の時代
 - 奴隷労働のような生活から趣味労働生活への人類の転換・解放
 - 永遠の平和な世界での観光・趣味生活
 - 戦争が発明の母の時代=対立闘争、正反合作用による発展の時代の終焉⇒授受作用、正分合作用によって発展する時代の到来
 - 人間の多様な趣味の中心は「釣り」
 - 商業用漁船による漁業時代は終わり、趣味による釣りの時代へ転換
 - 自然の中で、多様な神様を感じて生きることのできる時代

Memo





海洋摂理時代から海洋趣味産業摂理時代へ

海洋趣味産業とは

- 人間の趣味生活の中で一番普遍性、多様性を持つものが釣りに代表される「海洋趣味生活」
- 「海洋趣味生活」を支える産業を海洋趣味産業という。
- 飛躍的な科学や技術の発達を基礎にして生産性が極度に発展し、自動的に人類の食糧問題は解決されていく。
- 共生共栄共義主義社会 = 利権のためではなく、為に生きる原則に基づくビジネス・産業 = 神様の創造性、科学性と人間の意欲、創造性、科学性が授受作用して、新しい価値を産み出し、社会に貢献することを基礎としたビジネスの出現
- 1945年から70年後に祝福家庭の子どもたちに天才が現れてくる。(2006年6月)

海洋趣味産業12本の柱 (2003年11月27日に文先生が決定)

1. 海洋教会
2. 海洋学校
3. 魚釣り・トーナメント
4. 釣具・餌・衣服など製造販売
5. ボート製造販売
6. 魚の養殖・稚魚の孵化・放流
7. 魚流通産業
8. シーフードレストラン
9. 海運、観光産業、スポーツ
10. 海洋資源開発
11. 海洋生活、文化、情報産業
12. 海洋摂理基金・銀行



海洋趣味産業モデル基地とは

「海洋趣味産業モデル基地」とは

- 海洋趣味産業(12本の柱)を一カ所にまとめた「基地」
- 本来人間があるべき姿である「趣味生活」が出来る場所
- 海洋精神(為に生きる精神、真の父母主義)が中心
- 「モデル」とは容易に世界化できるという意味
- 国際的リゾート、観光地(超国家、超宗教、超種族)

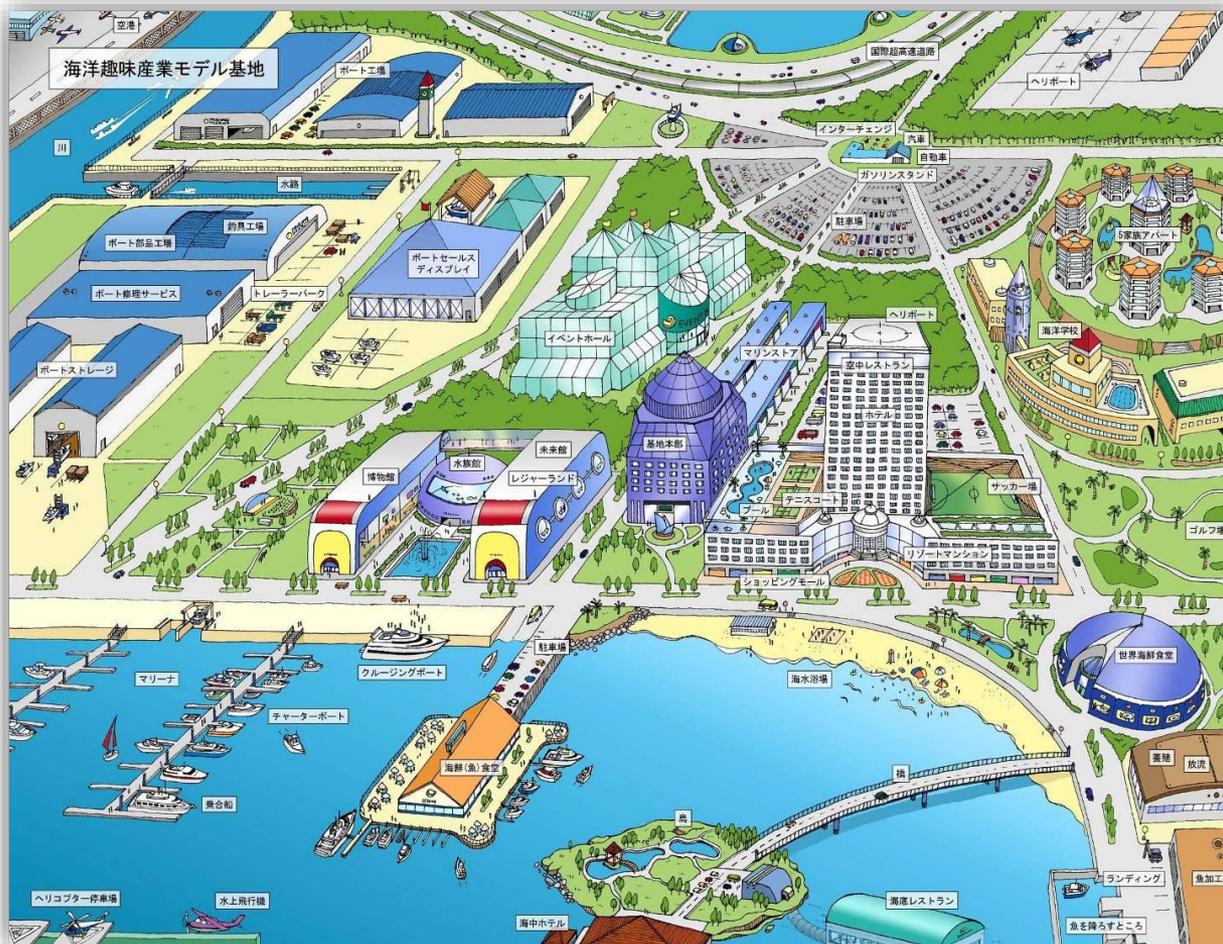
「モデル基地」建設要件

- まず環太平洋の東西南北に設置
- 魚が良く獲れる海域が舞台
- 「世界超高速道路」で結ばれる。

つまり「海洋趣味産業モデル基地」は文鮮明先生が自ら開拓された、海洋趣味ライフスタイル、カルチャーの国際的中心地である。



海洋趣味産業モデル基地の構想図



Memo





巨文島海洋趣味産業モデル基地建設から 麗水海洋趣味産業モデル都市建設へ

- 「モデル都市」は「モデル基地」を都市レベルに拡大したもの
- 政府と協働建設する
- 政府が担当
 - － 道路、鉄道、飛行場、港湾、橋梁、トンネル、上下水道、電力
- 私たちが担当
 - － 海洋趣味産業(12本の柱)
 - － 海洋趣味生活圏、文化の構築—私たちがまず海で自由に生きる生活を確立
 - － 海洋科学技術の開発—祝福家庭に天才を出現させる。
- 麗水が環太平洋と世界の海を中心
- 2012年5月～8月、麗水国際海洋博開催で世界中の指導者に「モデル都市」を紹介(3年延長)
- 偽りと真の先後の法則 —1999年3月21日サタンが自然屈服したにも拘らず、墮落陸上文明は継続し、悪霊が都市文明を中心としてこの世界、国を主管。神様の心情、血統、思想を中心とする神様文明開闢時代が都市レベルまで登場することによって自然崩壊
- 南北の統一始まる。



モデル都市のモデル、ソホ・オーシャンリゾート

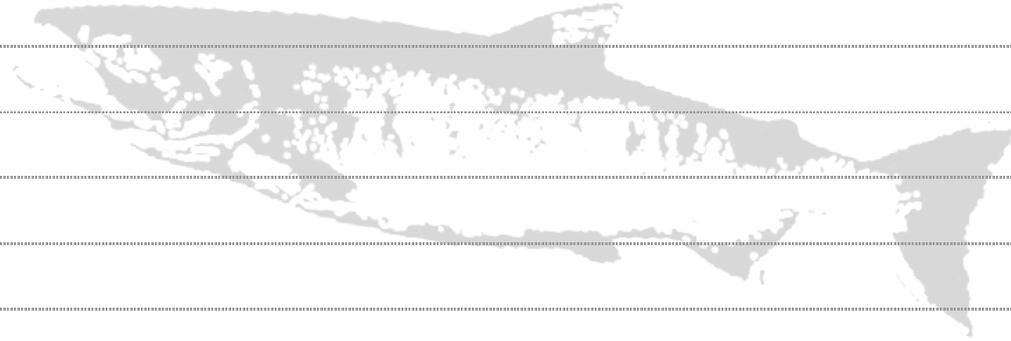




巨文島海洋趣味産業モデル基地の中心 海洋天正宮(海洋教会の完成実体)



Memo





世界超高速道路



文鮮明先生が直接、地図にベーリング海峡を中心に結ばれた「ワールドピースキングブリッジ・トンネル」（世界超高速道路）の構想を描かれる。「世界超高速道路は、世界各地の海岸線にある海洋趣味産業モデル基地・都市を結ぶ」と語られる。（2005年6月）



文鮮明先生が投入してこられた場所と順序

「氏族メシアが国家を代表できる名を成し、この業を全てを成した、全てを成した」



文鮮明先生の海洋摂理投入の足跡は、韓国(1963年)から出発し、北米、南米、ハワイ及び環太平洋諸国を経て再び韓国麗水に上陸した(2003年)。環太平洋圏は地球の半分を占めている。地球一周、そして、環太平洋の東西南北を巡回され、地球上の魚釣りの重要なポイントを巡回しておられた。中原天地(韓国)とパラグアイは地軸の両側。文化文明の中心を決定する三要素は、春夏秋冬の調和、大洋と大陸の調和、魚である。

Memo



A grayscale photograph of a person wearing a wide-brimmed hat, looking out of a window. The scene is dimly lit, with light coming from the window. The text 'PART III' and 'ボートの製造、販売' is overlaid on the image.

PART III
ボートの製造、販売



ボートの製造、販売

初めに

- Hobby World Marine は株主参加型の製造・販売会社である。
- なぜパラグアイなのか?—平準化の闘い。人類の食糧問題の解決
- ボート製造のコンセプト—不沈・速い・美しい・魚が最も多く釣れる。
- 278隻導入の意義
- 海洋摂理を進める核心は「ボート」—海を理解し主管する。
- ボート事業が世界最大の事業であるというコンセプト
- ボートは大きな価値を創るというコンセプトを祝福家庭である私たち自身が実現する。
- パラグアイで造るボート(パラグアイで製造するアメリカ製ボート)
- 一隻の試算
- 「ボート釣りクラブ」の結成



製造、販売計画

(2013年11月作成)

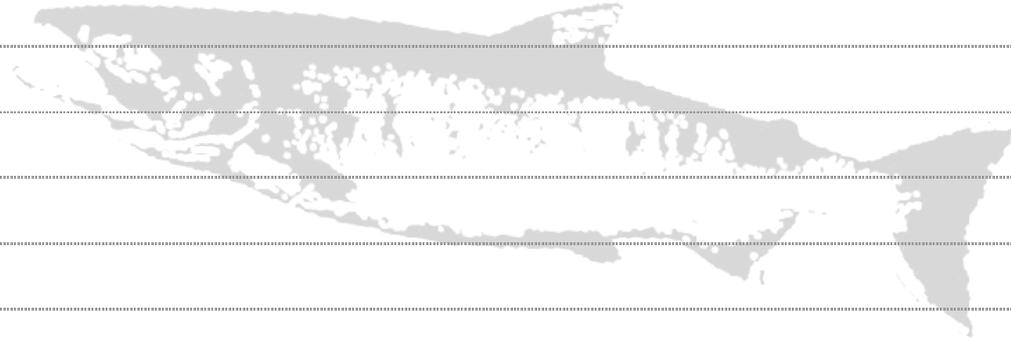
製造体制

- 原材料をアメリカで購入しパラグアイで製造。日本に発送、販売
- 2014年6月まで10隻を製造して日本に送る
- 6月まで70名技術者を送る
- 2014年中に第一工場完成
- 2014年中に70隻製造
- 7月以後毎月12隻製造
- 最終的に日本から合計200名の技術者投入
- 2015年中に第二、第三工場完成
- 漸次パラグアイ、南米の兄弟姉妹を雇っていく
- 2016年3月時点で1月120隻製造体制までもっていく

販売体制

- 1販売所に40人キャプテン、40名専属販売員体制をつくる。(基本的には2600名株主全員が販売員を目指す)
- 2013年9月3日まで278隻の契約完了
- 2014年12月まで12販売所に試乗会用ボートを6隻ずつ配置
- 2014年4月から1販売店1月1隻販売の為に闘う
- 2016年2月22日までには月120隻販売

Memo





パラグアイ・パンタナールにおける3年路程の目標

(2013年11月作成)

- 2014年6月までに日本の12ヵ所に配置するボート10隻を完成させる。
2014年 5月2日に最初の2隻のボートを完成、奉獻式
- 2014年6月まで70名、2015年12月までに200名の日本の若い技術者を養成
- 2014年中に第一工場、マリンセンターを建設
- 2014年度中に主要道路にアクセスできる10ha(ヘクタール)を買い増す。
- 2015年3月までに360隻(月30隻)のボートを製造し、日本に配送
- 2015年中に第三工場まで建設
- 2015年前半に河岸にバルクヘッドを打ち、マリーナを建設すると共にインフラを完全整備する。
- 2015年度中(2016年3月まで)にアスンシオン海洋趣味産業モデル基地を完成させる。
- 2016年6月までに月120隻製造・販売体制をつくる。
- 2014年度中にポルト・モルチーニョにボート販売所、修理工場を建設する。
- 2016年6月までにナビレキに水の都建設の基盤を造成する。



日本における3年路程の達成目標

(2013年11月作成)

- 2014年度中に試乗会用ボートを擁する12販売所設置(最低40名株主による販売員、ボートキャプテン体制、6隻試乗会用ボート配置)
- 2016年~18年迄に12海洋趣味産業モデル基地建設
- 2015年2月迄に70隻、2015年12月迄に278隻を日本に導入し、3年以内に全株主ボート操縦免許証取得、全株主ボート販売、海洋趣味産業摂理のプロ化
- 2016年6月迄に1モデル基地10隻以上のチャーターボート体制確立
- 2014年4月から月12隻販売開始。2016年4月からは1ヵ月120隻ボート販売
- 3年以内に1人120名、全体で24万ボート釣りクラブ会員獲得、教育
- 「国民海洋基金」制度の目標を3年以内に達成
- Master Marine社とHobby World Marine社のボート販売
- 世界六大陸へのボート工場建設
- 「東日本大震災の復興を世界復興の松明にせよ」とのみ言葉に従い石巻ボート工場建設と宮城県海洋観光趣味産業都市を建設



34年間の文鮮明先生のアメカ生活

文先生のアメカ生活の目的—どんなに延長しても40年までである '08/7/19

- アメカキリスト教界に「再臨主」を迎えさせる為の闘い(長男国家とする闘い)
- アメカは現代のローマ、最後の大陸・陸上文明の中心—これを再生させる。
- 1982年(アメカが独自に200海里宣言)そして1994年(国際海洋法制定)を境にアメカの海洋政策は大きく変化
- 現在、アメカはボータイング・魚食文化・海洋時代への最先進国に
- アメカに於けるボータイング産業は「主要消費財産業」へ
- 従来型の漁業はスポーツ型釣り産業へ転換
- アメカを、海洋文化文明で再生し、環太平洋(海洋)時代を迎える準備文化文明の国にするために、34年間文先生はアメカで精誠を尽くされた。

環太平洋時代の為の準備文化 アメカでの過去35年間のボート売り上げの推移



Memo





PART IV
「国民海洋基金」募集



海洋趣味産業摂理基金 「国民海洋基金」会員募集始動

- 趣旨・目的

環太平洋時代の到来に当たり、日本が海を制する海洋国家となる為の基金 海洋趣味産業モデル基地・都市の実現

- 名称「国民海洋基金」

- 自動振込み方式と直接支払いを併用

- 2013年9月正式スタート/3年間16万人会員募集目標

- 1年以内に47都道府県に事務局をつくる。

- 会報「海洋真時代」発行(2014年10月1日初版出版)

結論



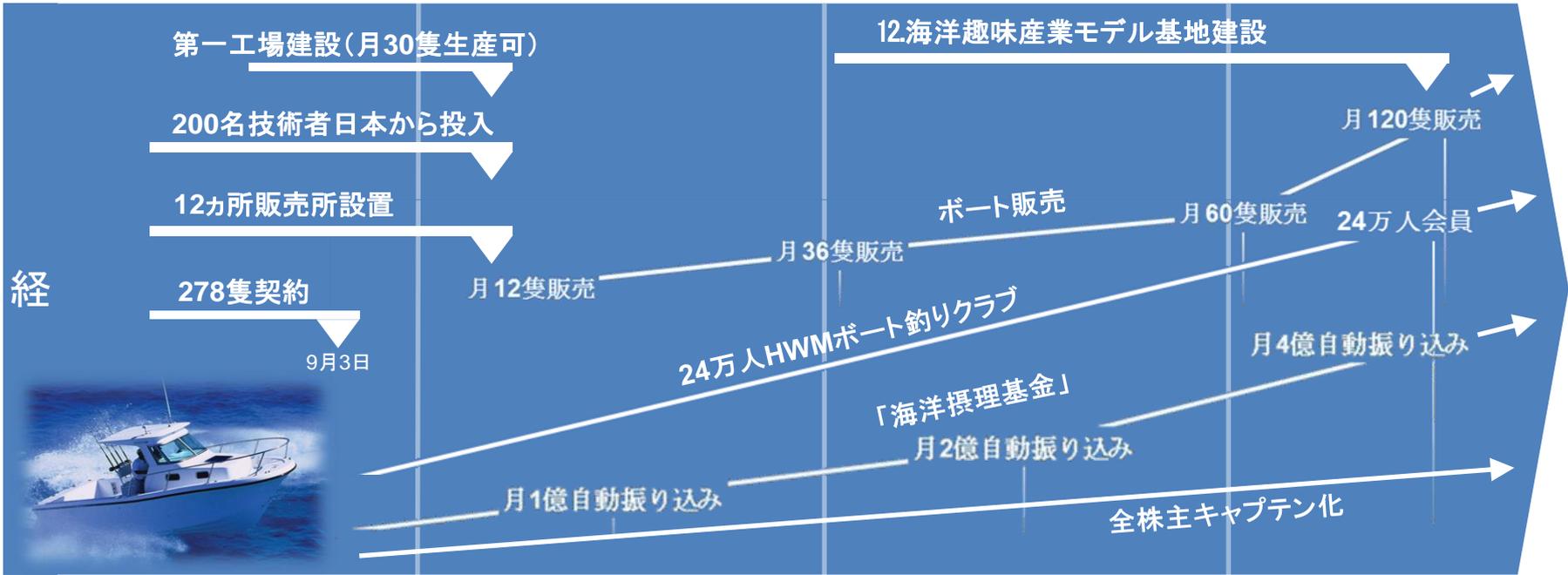


3年路程行程表



宗 訓読家庭教会伝道 1億人に向けて

政 参院選 衆参同日選



2013年 2014年 2015年 2016年



これまで日本に出された海洋摂理に対する方針

1. 1980年代—鮪、ロブスター等を日本市場へ輸入、魚販売、ボート導入
2. 1990年 久保木修己会長中心にアラスカ隊結成/「まず20隻のボートを導入」/アメリカ釣り投資家ツアー結成
3. 1991年9月 神山威会長以下200名をアメリカから日本へ—海洋教会創設、ボート会社設立、ボート販売、釣り具産業創設が指示される。
4. 1996年~1997年 海洋摂理の世界化/女性海外宣教/国家的メシア摂理/120カ国へ各々4種類のサイズのボート(16フィート~28フィート)配置、4種類の釣り具配置/南米宣教師に釣り具販売事業を指示
5. 1999年 150隻のボート導入を指示される。
6. 2000年10月 「200隻のボートを導入してチャーターボートを始めなさい」
7. 2005年7月 「500隻のボートを導入しなさい」(300億投資、1500名担当者、全教会員参加型プロジェクト)



「船を造っておきなさい」と前から話しておきました。

そして、「日本で火山が爆発する時は、韓半島を考えなければならない」と言いました。それで、「船を造っておきなさい」と前から話しておきました。船を造りましたか。それは、そのようになるかもしれません。ですから、日本人は傲慢に振る舞ってはいけません。・・・傲慢に振るまえば、神様は、そのままほっておきません。アメリカも打たれ、日本も打たれます。先生はそうなるように祈祷はしますが、日本が誤ればその様にならざるを得ないというのが妥当な結論です。歴史的な善悪の審判から見れば、妥当な話だということです。

(環太平洋摂理第5章 すべての文明の結実は半島で—P290より)



結論

- 株式募集は続けています。
株式募集は2013年12月26日に8000株が達成されましたが、まだ分割も多く目標の金額が入っていません。従って株式募集はまだ続行しています。
- ボート会員権募集も60口程まだ残っています。
- 9月3日のお父様の御聖和一周年までに、278隻のボートを購入する契約は行い、お父様への御報告と、代金納入、ボート導入結団式は行いましたが、確実にこれを実現する為、ボート代金納入の闘いと新たなボート購入者募集を続けていきます。これは確約者だけの闘いではなく、2600全株主総動員による278隻導入の為の闘いです。
- 株主になられていない食口や食口以外のボート販売対象者には「国民海洋基金」会員への入会募集を行っています。会員になられた方もボート販売によるコミッションの支払いは適用されます。

Memo

